



+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

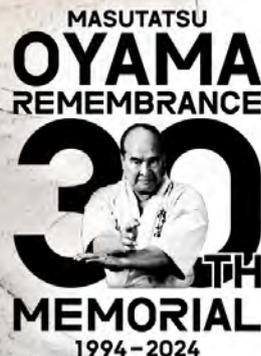
2024 オープントーナメント 第39回

# 全日本ウェイト制空手道選手権大会

PRESENTED BY INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION KYOKUSHINKAIKAN

JUNE 29<sup>TH</sup>,30<sup>TH</sup>, 2024 @ EDION ARENA OSAKA

極真会館 創立60周年



+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

# 2024 オープントーナメント 第39回 全日本ウェイト制 空手道選手権大会

THE 39TH ALL JAPAN WEIGHT CATEGORY KARATE CHAMPIONSHIPS

PRESENTED BY INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION KYOKUSHINKAIKAN JUNE 29TH,30TH, 2024 @ EDION ARENA OSAKA

主催/国際空手道連盟極真会館 館長/松井章奎

後援/日本赤十字社 公益財団法人全日本空手道連盟 メディアエイト ワールド空手

2024年6月29日Ⓟ30日Ⓟ 大阪府立体育会館

# 2024 オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会

## 大会日程 SCHEDULE

1日目

6/29(土)

[9:00] 開場

[10:00] 開会式

[10:15] **試合開始**

男子/軽軽量級15試合・軽量級22試合  
中量級29試合・軽重量級19試合  
重量級2試合

女子/軽量級9試合・中量級1試合

[15:45] 試合終了

2日目

6/30(日)

[9:00] 開場

[10:00] **準々決勝**

女子/3階級12試合

男子/5階級20試合

[12:30] 2日目開会式

[12:40] 準決勝進出選手紹介(男女各階級4名)

[12:50] ルール説明

[13:05] **準決勝戦**

女子/3階級6試合

男子/5階級10試合

[14:45] **3位決定戦**

女子/3階級3試合

男子/5階級5試合

[15:25] **決勝戦**

女子/3階級3試合

男子/5階級5試合

[16:40] 表彰式・閉会式

[17:00] 大会終了

※両日も進行状況により時間が変更する場合があります。

[試合時間]

女子予選

①本戦 2分間

②延長戦 2分間

③体重判定(有効差3kg)

④再延長戦2分間の順で勝敗を決する

女子準決勝戦以降

①本戦 3分間

②延長戦 2分間

③再延長戦 2分間

④試割の枚数

準決勝 ①手刀②猿臂③足刀④正拳

3位決定戦・決勝戦 ①猿臂②足刀③正拳④手刀

⑤体重判定(有効差3kg)

⑥再々延長戦2分間の順で勝敗を決する

## 目次

3 大会日程・目次

4 ごあいさつ◎国際空手道連盟 極真会館 館長 松井章奎

5 大会役員紹介

6 ◎**今大会の見どころ**

第13回世界大会後のリスタートは早くも

2025世界ウェイト制日本代表選考大会

# 新時代を勝ち抜く 次代のエースは誰だ!?

9 ◎**今大会注目選手紹介**

辻隆行/加藤竜成/反町洸太

アルテムフ・アスカー/樋口知春/金子雄大

10 小林健人/大森稜司/谷川蒼哉

ポリアコフ・イリア/飯塚翼/佐藤拓海

11 山上大輝/徳田寛大/フェドシーフ・アレクセイ

荒田昇毅/西村大河/エキモフ・マクシム

12 所羽奈/アルテムフ・ナタリア/森岡優海

小城みなみ/知念琉花/宮本神

13 男子軽軽量級出場選手一覧/男子軽軽量級トーナメント表

14 男子軽量級出場選手一覧

15 男子軽量級トーナメント表

16 男子中量級出場選手一覧

17 男子軽中量級トーナメント表

18 男子軽重量級・重量級出場選手一覧

19 男子軽重量級・重量級トーナメント表

20 女子軽量級・中量級・重量級出場選手一覧

21 女子軽量級・中量級・重量級トーナメント表

22 I.K.O.審判資格者一覧

26 試合の主な有効技・反則技

27 I.K.O.極真ルール 試割規定/審判動作基準

28 会員制度推進本部からのお知らせ

29 国際空手道連盟 極真会館 総本部・全国支部道場

男子予選

①本戦 2分間

②延長戦 2分間

③体重判定(有効差3kg)

④再延長戦2分間の順で勝敗を決する

男子準々決勝以降

①本戦 3分間

②延長戦 2分間

③再延長戦 2分間

④試割の枚数

準々決勝 ①手刀②猿臂③足刀④正拳

準決勝 ①猿臂②足刀③正拳④手刀

3位決定戦・決勝戦 ①足刀②正拳③手刀④猿臂

⑤体重判定(有効差3kg)

⑥再々延長戦2分間の順で勝敗を決する



国際空手道連盟 極真会館 館長

# 松井章奎

本日は、御来場いただきまして誠に有難うございます。

皆様方の温かい御支援を賜り、『日本赤十字社 災害義援金チャリティー 2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会』をここに開催出来ます事を心より御礼申し上げます。

また、本大会開催の挨拶に併せて、今年1月に発生した「能登半島地震」により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様にも心よりお見舞い申し上げます。極真会館では2011年3月の東日本大震災以降、国内すべての大会やイベントを「義援金チャリティー大会」として開催し、募金活動などで集められた義援金を、日本赤十字社を通じて被災した各地にお送りしております。今後も継続的にチャリティー活動を行ってまいりますので、引き続き皆様方にも御協力賜りませう宜しくお願い致します。

極真会館では昨年11月に第13回目となる「全世界空手道選手権大会」を大山倍達生誕100年記念大会として開催し、無事成功裏に終えることができました。一方で昨年の世界大会は、現在の国際情勢を深く憂慮する中で極真会館の活動指針の一つである「世界平和」をスローガンに掲げ、最終日にグラミー賞受賞者の宅見将典氏に受賞曲『Sakura』他、生演奏で大会に華を添えていただいた中の一曲『イマジ』は、会場中が一つになって「反戦」という心の輪が出来、多くの人に平和の大切さを再認識していただく良い機会となったと思いますし、国際空手道連盟極真会館が、国家、民族、人種、宗教、政治、思想などあらゆる差別や偏見を超越したところで活動していくことと、武道

## ◎大会ごあいさつ

＋日本赤十字社 災害義援金チャリティー

# 2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会

空手道の普及と社会体育活動によって世界平和を目指すという志を改めて示すものとなったと思います。

前述の第13回世界大会では、世界各国・各地域から男子166名・女子50名の合計216名の選手が参加して男女とも3日間にわたり白熱した試合が展開され、男子はI.K.O.RUSSIA所属のイエロメンコ・アレクサンダー選手、女子はI.K.O.JAPAN所属の佐藤七海選手が優勝し、両名とも4年前の前回大会準優勝者で新型コロナウイルスによるパンデミックの3年間や4年毎の世界大会開催という困難な時期を乗り越えて大願成就を果たすという結果で幕を閉じました。

そして今年2024年は、1994年に大山総裁が逝去されてから30年、1964年に国際空手道連盟極真会館が設立されてから60年という節目の年に当たり、総裁の命日である4月26日には極真会館の聖地とも言える東京・池袋において「大山倍達総裁三十年慰霊祭」と「国際空手道連盟 極真会館 創立60周年記念祝賀会」を執り行いました。これまで御支援、御協力をいただいた多くの方々により感謝の意を表すとともに、これを機に更に心を引き締め、これから先70周年、そして100周年を目指し一丸となって団体活動に邁進していく所存ですので、今後とも御教導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、本大会は極真会館所属の専科選手と他の友好団体の選手が、男子5階級、女子3階級に分かれて組手競技で覇を競う体重別による全日本選手権大会で、今大会は来年開催予定の第7回全世界ウェイト制空手道選手権大会の日本代表選手選考大会となっています。各階級で上位に進出した日本選手が選考対象となり、最終的には今秋開催される無差別全日本大会での結果や試合内容を見て代表選手が正式決定されます。ウェイト制大会はもともと無差別全日本大会や無差別世界大会への登竜門という位置づけで、ちょうど40年前の1984年に初めて第1回大会が行われ、昨今ではユース世代の飛躍的なレベルアップもあり、10代はおろか現役高校生でありながらウェイト制大会で優勝を飾る選手も珍しくない状況になっています。今大会でもユース世代のエリートや10代の新鋭、あるいはベテラン・中堅勢が、世界ウェイト制大会出場を目指し、例年以上の激しい戦いを繰り広げることと思います。世界大会の翌年は選手の新陳代謝がはかれる年でもあり、I.K.O.極真ルールの下で新たな選手達がどのようにチャレンジしていくのか、また各選手達がどのように進化した「心・技・体」を体現するのかといったところが見所になるでしょう。しかしながらここで一つ申し上げておきたいのは、

極真会館は『競技団体』ではなく、あくまでも『武道団体』であり、極真会館における競技会・大会というのは、修行の場でなければいけないということです。『実践なくば証明されず、証明なくば信用されず、信用なくば尊敬されない』という実践主義における実戦空手としての『実戦性』が示されること。大山総裁が『地に沿った基本、理に合った型、華麗なる組手』、『理念のある空手が極真空手である』と常々示されたように、美しい技の競い合いがなされる『競技性』が示されること。そして試合である以上は『安全性』が確保されていること。またそこに極真精神を象徴する『武道性』が顕れる大会でなければならないということです。この『実戦性』、『競技性』、『安全性』、そして『武道性』を示せる『修行の場』としての競技会・大会ですから、出場される選手の皆さんは、これまで様々な局面で経験し得てきた『心・技・体』の向上を活かし、自身の力を存分に発揮して、競技を通じ多くの刺激を得ていただきたいと思っております。

国際空手道連盟 極真会館は、大山総裁が教示した空手道の「真を極める」という精神性をその団体名とし、「頭は低く、目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する」という極真の理念に基づいて1964年に創設された武道団体です。日々稽古に精進する中で『最強』『一撃必殺』といった武術の理想を追求すると共に2011年『極真会館・命知元年』で示した「世界平和を目指し、武道空手道の普及による社会体育活動を通じて、社会に有用たる人材の育成に努める」という団体活動目的と「最強求道の志・相互互惠の志・永続繁栄の志」という3つの団体活動指針を基盤としています。日本の優れた伝統文化である武道精神と空手道の普及によって健全な青少年、健全な若者の育成、シニア世代の健康増進や社会福祉、国際交流など、「武道を通じて社会に貢献し、世界の平和友好を目指す」という信念の下、今後も様々な活動に邁進していく所存でございます。

これらのことを是非お含み置きいただき、御来場の皆様方、ライブ配信で御観戦される皆様方には、最後まで選手達に熱い御声援を賜わり、本大会の御観戦を通じて私どもの活動に更なる御理解と御支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会開催にあたり多大なる御支援を賜りました御協賛各社様、御後援いただいた日本赤十字社様をはじめ、御協力、御尽力を賜りました全ての皆様方に衷心より尊敬と感謝の意を表し、私の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

# GREETINGS

Officials

# 大会役員



大会実行委員長  
松井 章奎  
極真会館 館長  
Championship Chairman  
Matsui Shohei  
President of the  
I.K.O. Kyokushinkaikan



大会審議委員長  
郷田 勇三  
極真会館 最高顧問  
Championship Committee Chairman  
Goda Yuzo  
I.K.O. Executive Advisor



大会審議委員会相談役  
待田 京介  
極真会館 特別相談役  
Championship Committee Advisor  
Machida Kyosuke  
I.K.O. Special Advisor



大会審判長  
磯部 清次  
極真会館 国際委員会委員  
Championship Supreme Judge  
Isobe Seiji  
I.K.O. International Committee Member



大会副審判長  
ケニー・ウーテンボガート  
極真会館 国際委員会委員  
Championship Executive Judge  
Kenny Uytendogaardt  
I.K.O. International Committee Member



大会副審判長  
山田 雅稔  
極真会館 副審判委員長  
Championship Executive Judge  
Yamada Masatoshi  
I.K.O. Officiating Committee Vice Chairman



大会審議委員  
河岡 博實  
極真会館 審判委員会委員  
Kawaoka Hiromi  
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員  
五来 克仁  
極真会館 国際委員会委員  
Gorai Katsuhito  
I.K.O. International Committee Member



大会審議委員  
川畑 幸一  
極真会館 審判委員会委員  
Kawabata Kouichi  
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員  
スチュアート・コリガル  
極真会館 審判委員会委員  
Stuart Corrigan  
I.K.O. Officiating Committee Member



大会審議委員  
浜井 良顕  
極真会館 審判委員会委員  
Hamai Yoshiaki  
I.K.O. Officiating Committee Member



大会実行副委員長  
福田 勇  
極真会館 総本部師範  
Fukuda Isamu  
I.K.O. Honbu Shihan



大会実行委員  
八巻 建志  
極真会館 総本部師範  
Yamaki Kenji  
I.K.O. Honbu Shihan

### 大会名誉顧問

菅 義偉 (衆議院議員)  
小沢 一郎 (衆議院議員)  
亀井 静香 (元衆議院議員)  
佐藤 義昭 (加圧トレーニング®発明者)  
佐藤 可士和 (クリエイティブディレクター)

### 大会特別顧問

澤井 明彦 (株式会社サン・ラック代表取締役社長)  
志 太勤一 (シダックス株式会社代表取締役会長兼社長)

### 大会相談役

泉 和彦 (団体代表役員)  
伊東 信久 (衆議院議員、医師)  
大下 英治 (作家)  
川島 智太郎 (元衆議院議員)  
行田 邦子 (埼玉県行田市市長)  
藤巻 潤 (俳優)  
毛利 謙介 (総本部顧問、会社役員)  
(\*五十音順)

### 大会評議委員会

杉村 福次郎

### 大会医事

極真会館 医事委員会

### 協力団体

国際空手道連盟 錬空武館  
全日本真正空手道連盟 真正会

### 大会運営委員会

杉村 多一郎 (運営委員長)  
東 博昭  
岡田 祐樹  
田ヶ原 正文  
田中 隆昌  
田中 正信  
徳田 忠邦  
橋爪 秀彦  
比嘉 幸治  
山野 博久  
(\*五十音順)



昨年男子軽量級の決勝を争った反町洸太(左)と辻隆行。再戦は実現するのか!?



男子軽重量級に出場する第13回世界大会技能賞の山上大輝(左)。



山上と同じく第13回世界大会技能賞の佐藤拓海(右)。両者の対戦は実現するのか!?



男子軽量級は決勝で戦った小林健人(左)とアルテムフ・アスカーが頭一つリード。



一昨年の男子中量級優勝者・大森稜司(左)は2度目の優勝を狙う。



大森へのリベンジに執念を燃やす昨年男子中量級優勝者の飯塚翼(右)。

### ◎今大会の見どころ

第13回世界大会後のリスタートは早くも

## 2025世界ウェイト制日本代表選考大会

# 新時代を勝ち抜く 次代のエースは誰だ!?

『全日本ウェイト制空手選手権大会』が、体重別の全日本選手権として1984年に産声をあげてから今年でちょうど40年。当初の目的であった無差別の全日本大会や世界大会への登竜門という位置付けは今も変わらず、例えば昨年の第13回世界大会で優勝した男子のイエロメンコ・アレクサンダーは2013年第30回全日本ウェイト制重量級優勝者で、女子の佐藤七海は2017年・2018年の全日本女子ウェイト制軽量級優勝者。二人ともこのウェイト制大会での優勝をきっかけに世界の舞台へと活躍の場を広げていった。

そして今年のウェイト制大会は来年2025年に開催が予定される『第7回全世界ウェイト制空手選手権大会』の日本代表選手選考大会となっている。代表選手は、今年秋に行われる『第56回全日本空手選手権大会』の結果や試合内容を考慮して最終的に決定されるが、今大会で優勝、あるいは上位に勝ち進むことは選考の大きなアドバンテージになると言ってもいいだろう。

では、男女の各階級ごとに主な出場選手を見ていこう。

### ■男子軽重量級(-60kg)

昨年に続いてトップバッターとして登場するのは真正会の辻隆行(ゼッケンNo.1/以下同)。一昨年真正会主催の全日本大会軽量級(-65kg)準優勝者で、昨年は優勝候補の一角として出場し、海外選手を退けるなどの奮闘を見せて決勝

まで勝ち進んだ。

40年におよぶ全日本ウェイト制の歴史の中で、数々の他団体選手が上位に進出してきたが、いまだ「優勝」の二文字を獲得した選手はいない。もし史上初の他団体の優勝者が誕生するとすれば、辻が最も近いポジションに在ると言える。

その辻に対抗心を燃やしているのが加藤竜成(No.11)である。両者は昨年準決勝で対戦し、辻がパワーの差を見せつけるように下段突きで技有り2つを奪い、ワンサイドで合わせ一本勝ち。加藤はその雪辱を果たすべく、この一年で体幹や技の威力の強化に努め、本番の今大会を迎える。

後半ブロックの先頭、リチュフ・ヴラディ斯拉フは今年のロシアンカップ軽重量級優勝者で、流れるようなスピードと強打が持ち味。また、同じI.K.O.ロシアのズバレフ・エゴール(No.19)は4月の国際親善大会16歳17歳男子-60kg級の優勝者だ。

最後尾は昨年優勝者で、高校3年生の反町洸太(No.23)。防具無し的一般部デビュー戦を最高の形で終えた反町は、世界大会日本代表のリザーブ選手として強化稽古などで自身を磨き、今年3月には埼玉県大会で初めて無差別の試合にも挑戦するなど、連覇に向けてのモチベーションは高い。

### ■男子軽量級(-70kg)

昨年決勝を争ったアルテムフ・アスカー(No.24)

と小林健人(No.53)がトーナメントの両端に位置するこの階級。

前半のブロックはアルテムフが中心になって展開されると予想されるが、そこにストップをかけたのが真正会の坂田龍星(No.30)だ。坂田は一昨年3位に入賞し、昨年は日本代表として第13回世界大会に出場して経験値を上げた。昨年後ろ廻し蹴りで2つの技有りを記録したアルテムフは技の切れやタイミングが抜群で、同じく素早い足技を得意にする坂田は十分対抗できるポテンシャルを持つ。両者の対戦が実現すれば、目の離せないスリリングな展開になることは必至である。

そして前半ブロックの最後尾には2018年の中量級優勝者の樋口知春(No.38)がエントリーしている。樋口は一昨年は中量級4位。今回は階級を軽量級に変えて2年ぶりの復帰戦に臨む。

小林健人への挑戦権を懸けた後半ブロックは、一昨年輕重量級で優勝し、階級を上げて臨んだ昨年は3位に入賞した金子雄大(No.39)が有力。金子は昨年準決勝で小林に惜敗しているだけに、今年は何ともしもリベンジしたいところだ。また、今年のロシアンカップ軽量級で優勝したソロベフ・エゴール(No.46)がどこまで実力を発揮するかによってもトーナメントの戦況は変わってくる。

名実ともにこの階級の第一人者である小林が、昨年同様に新鋭たちに力の差を見せつけるのか、あるいは行く手を阻まれるのかが最大の見所だ。



迫力のパワーで第13回世界大会7位に入賞したエキモフ・マクシム(左)。



全日本ウェイト制重量級で3度目の優勝を狙う37歳の挑戦者・荒田昇毅(右)。



昨年女子-55kg級決勝を戦った森岡優海(左)とアルテメワ・ナタリア。



男子軽重量級は昨年準優勝者で第13回世界大会8位のフェドシーフ・アレクセイ(左)が本命。



男子の軽重量級から重量級に階級を上げて初優勝を目指す西村大河(右)。



昨年女子-50kg級優勝者の所羽奈(右)と同級3位の富沢真優。今年は女子軽量級に出場。

### ■男子中量級 (-80kg)

今年の男女全8階級の中で最も注目度が高いと言えるのが、この中量級である。なぜなら一昨年優勝者の大秦稜司(No.54)と昨年優勝者の飯塚翼(No.90)という互いに意識し合う同世代のライバルが雌雄を決することが予想されるからだ。

両者は2022年第54回全日本で対戦。この時はまだ軽量級の体格だった飯塚を大秦が地力の差を見せて退けた。その後、飯塚は大学のボディビル部に所属してフィジカルを強化し、中量級の身体を作り上げて昨年の優勝に繋がった。コロナ禍後の全日本ウェイト制で飯塚は軽量級優勝、中量級優勝、そして今年は大会3連覇が懸かっている。

また両者は昨年の第13回世界大会に出場。進んだ回戦こそ違うが、共に不本意な結果に終わり、そこからの失地回復という意味でも両者の激突に期待が寄せられる。

しかし、そこに待ったを掛けたいのが、前半の最後尾・谷川蒼哉(No.72)と後半の先頭ポリアコフ・イリア(No.73)だ。

谷川は昨年4位で第13回世界大会では大型の外国人選手と連続で激闘を繰り広げて評価を上げた。大秦とは2021年全国選手強化錬成試合で対戦し、2本先取した方が勝つという変則ルールの中で2-0のストレート勝ち。対大秦に自信を持っている。

一方のポリアコフは今年のロシアンカップ中量級優勝者で、大秦とは昨年第13回世界大会で対戦して本戦判定勝ち。先に対戦すると考えられる飯塚にとっては大秦以上に厄介な相手とも言える。

他にもこの階級には今年5月の全関西大会無差別優勝者で元日本代表の長澤大和の実弟・長澤龍馬(No.62)、昨年全関東中量級優勝者の北村佳祐(No.63)、世界大会2度出場の高木信(No.82)など精鋭が揃う。

### ■男子軽重量級 (-90kg)

昨年I.K.O.ロシア勢同士の決勝対決となったこの階級は、そのトップ2の一人、フェドシーフ・アレクセイ(No.117)が優勝候補の筆頭格。フェドシーフは昨年の第13回世界大会で重量級の荒田昇毅を足掛けで転倒させて下段突きで技有りを奪い金星をあげて8位に入賞。今大会で日本での初優勝を目指す。

対抗馬と見られるのは、第13回世界大会に出場した佐藤拓海(No.91)、山上大輝(No.104)、徳田寛大(No.105)、大秦零司(No.111)の4名。佐藤と山上は世界大会で技能賞を獲得し、両者ともに自信を携えて今大会を迎える。

特に佐藤は昨年フェドシーフに準々決勝で敗れたそのリベンジに燃えている。また山上は昨年の中量級準優勝から階級を上げての出場。過去には佐藤にも一度勝っているだけに、見据えるのは優勝しかない。

徳田は一昨年準優勝、昨年3位と成績は安定しているが、そこから抜け出してもう一步駒を進めたい。また、大秦も全日本クラスの大会で初入賞を目指したいところだ。

そしてこの階級には期待の新星が複数エントリーしている。まず昨年11月の国際親善エリート大会16歳17歳男子+80kg級優勝者の木山獅勇(No.97)は現在高校3年生で185cmの長身から放つ多彩な足技が魅力。続く秋山大知(No.98)は昨年7月の東日本大会と11月の全関東大会重量級を制し、次世代のエース候補の呼び声が高い。さらに西尾咲哉(No.110)は昨年世界大会リザーバーに選出され、地元の全中部大会では2連覇を遂げている。

また、その他の外国人選手として特筆されるのが、グリンスキー・ヴラディスラフ(No.101)とムヒゼ・カエリレ(No.114)の二人。グリンスキーは今年のロシアンカップ軽重量級優勝者で昨年の第13回世界大会はベスト16。5回戦でイェロメンコ・アレクサンダーに敗れたため目立

った印象は残していないが、山川竜馬、坂田龍星を下すなど実力は折り紙付き。一方、ムヒゼは第13回世界大会2回戦で飯塚翼から上段膝蹴りで技有りを奪う鮮烈な印象を残した。

### ■男子重量級 (+90kg)

第13回世界大会の激闘が再現されそうな迫力満点の攻防が期待されるのがこの階級。まず歴戦の勇・荒田昇毅(No.118)が再起戦として出場し、その先に来年の世界ウェイト制大会をにらむ。また一昨年3位の岩田大(No.122)は初戦で今年のロシアンカップ重量級準優勝のユラソフ・エフゲニー(No.121)と対戦。100kgを超える両者の激しい打撃戦が予想される。

後半ブロックの先頭は昨年輕重量級4位の西村大河(No.123)。第13回世界大会で評価を上げた西村は94kgまで体重を上げ階級をアップしてウェイト制初優勝を狙う。

ダークホース的な存在は田水春樹(No.125)。真正会所属で出場した昨年は2回戦で格上のトゥセウ・アントニオを下す番狂わせを起こし、今年に入って東京城西支部に移籍して今大会に向けた猛稽古に励んでいる。

その田水と2回戦で対戦するのが、トーナメント最後尾のエキモフ・マクシム(No.127)だ。昨年第13回世界大会で7位に入賞し、実績・実力ともに頭一つ抜き出た存在。190cm、110kgの“モンスター”エキモフに対し、田水、西村ら若手がどんな攻略法をもって挑むのか、またエキモフがそれらを蹴散らすのか。そして37歳の挑戦者・荒田がもし決勝でエキモフと戦ったら？

出場選手数は少ない重量級だが各選手の個性が光り、見逃せない試合が続く。

### ■女子軽量級 (-55kg)

昨年は軽量級-50kg、中量級-55kg、重量級+55kgで実施されたが、今年是世界ウェイト制の体重区分に合わせて軽量級-55kg、中量級



2022年の全日本女子準優勝者・八幡華菜(右)は女子軽量級で復帰戦に挑む。



昨年エルハイモフ・シャイネスを破った小城みなみ(左)は女子中量級の優勝候補。



女子重量級の優勝候補の筆頭格、知念琉花(右)。



女子重量級で期待の高校生・岡田冴月(左)と復活を期す遠藤ひとみ。



ウェイト制初優勝を狙う全関東大会+55kg級2連覇の今井佑奈(右)。



女子重量級で知念を猛追する昨年準優勝者の宮本神(右)。

-65kg、重量級+65kgで行われる女子の各階級。特にエントリー選手数の多い軽量級は昨年-50kg級優勝の所羽奈(No.128)と-55kg級優勝の森岡優海(No.144)という二人の優勝者が“連覇”を狙っている。

所と森岡は今年3月に高校を卒業した同級生で昨年の第13回世界大会では共に若獅子賞(新人賞)を受賞。その期待に応えるべく、決勝での対戦を誓う二人だが、そう簡単にはいかないのが極真のトーナメントだ。

まず前半ブロックの鈴木千凌(No.131)は昨年-55kg級4位で身長は所より約10cm高く、若いながら試合経験や実績も豊富。他にも今年3月の埼玉県大会優勝者・福永ゆら(No.132)、昨年の全関東-55kg級優勝の今井彩弥(No.133)、昨年-50kg級3位の富沢真優(No.134)が有力視されるが、何と言っても本命は昨年-55kg級で森岡と決勝を戦ったアルテメワ・ナタリア(No.135)だろう。

後半ブロックでは八幡華菜(No.136)に注目。八幡は2022年に行われた無差別全日本女子と全日本ウェイト制+50kg級で共に準優勝し、今回がそのウェイト制以来の復帰戦となる。とはいえブランクの間に女子の勢力圏は目まぐるしく移り変わり、2年前に危なげなく判定勝ちした森岡優海は今や連覇を狙う立場になり、世界大会を経験してひと回りもふた回りも成長している。準決勝で両者の対戦が実現すれば、八幡が意地を見せるのか、森岡の若さと勢いが優るのか、興味は尽きない。

そして、隠れた優勝候補と言えるのがカザリアン・アレクサンドラ(No.139)。今年のロシアンカップ軽量級優勝者で昨年第13回世界大会では3回戦で知念琉花を破る実力を見せた。170cmの長身から繰り出される膝蹴りやパワフルな突きに日本勢は苦戦を強いられるに違いない。

そしてもう一人、注目してほしいのが櫻田まどか(No.140)。昨年と今年の国際親善大会一般

の部(防具付)-55kg級を連覇し、特に今年はI.K.O.ロシア選手を相手に延長まで粘って接戦を勝ち切る姿は地元秋田の道場生ならずとも感動を呼ぶものであった。また、櫻田は昨年8月の全日本型競技一般の部で優勝を飾っており、まさに組手と型の“二刀流”で活躍している。

### ■女子中量級(-65kg)

この階級は昨年の+55kg級4位、第13回世界大会にも出場した小城みなみ(No.153)が優勝候補の最右翼。過去の実績や経験、技術面や体格の面など小城がどれも優位に立つが、他の選手にはその差を覆すような気力あふれる試合を期待したい。

また、前半ブロックでは今年4月の国際親善大会一般の部(防具付)-65kg級で決勝を戦った河合風香(No.145)と藤本美桜(No.148)の再戦が濃厚。鋭い上段廻し蹴りを得意にする藤本は昨年の国際親善大会一般の部(防具付)で優勝し、今年は2連覇を期したが、広島支部で元日本代表の久保英和や田崎佑麻らと稽古を重ねる河合の粘り強い組手に競り負けた。今回、防具無しI.K.O.極真ルールで果たしてどんな結果を迎えるのか?

他にも石神詩英羅(No.146)は小城の千葉北支部の後輩で、今年2月の千葉県大会3位。石田麗奈(No.149)は昨年7月に行われた東日本大会+55kg級準優勝者で、鈴木花菜(No.152)は同じく東日本大会+55kg級3位。各選手ともまだキャリアは浅いが一歩ずつ成長し、打倒・小城とその先にある優勝を狙っている。

### ■女子重量級(+65kg)

全8階級の中で唯一、日本選手のみで争われるこの階級は、重量級らしい力強さをベースにした技術の攻防が見られそう。トーナメント先頭の知念琉花(No.154)は恵まれた体格もあって以前から次世代のエース候補と期待されて

いた存在。その知念が1回戦でかつての日本のエース・田崎佑麻(No.155)と対戦する。田崎の全日本クラスの試合は2019年8月のウェイト制以来。田崎の奮闘に期待したいが、次の世界大会を目標に掲げる知念もここで負けるわけにはいかない。

前半ブロックの今井佑奈(No.157)は昨年と一昨年の全関東大会+55級優勝者で第13回世界大会リザーバー。前に出て圧力を掛けていく組手が真骨頂だ。後半ブロックの岡田冴月(No.158)も同じく世界大会リザーバーで4月の国際親善大会15歳~17歳+50kg級準優勝者。岡田は1回戦の相手、遠藤ひとみ(No.159)とは昨年も対戦して延長で僅差判定勝ちを取っており、今年はさらに差を付けて勝ちたいところだが、実績で優るベテラン遠藤にとっても負けられない一戦だ。

そして知念と並ぶ優勝候補が最後尾の宮本神(No.161)。昨年の+55kg級準優勝者で第13回世界大会にも出場して存在感を示した。知念と宮本は過去の対戦成績は知念の1勝だが、今大会で二人の決勝対決が実現すれば、勝者は日本のエースを決める出世レースで大きくリードすることになる。

昨年11月に第13回世界大会を終え、次の2027年第14回大会に向けて新たなサイクルに入る最初のスタートとなるのが今回の第39回全日本ウェイト制大会である。

来年の第7回世界ウェイト制大会を視線の先に置きながら、新たな選手の台頭やベテラン・中堅勢の奮起など様々な要素や見所が詰まった今大会。極真会館にとって大きな節目となる大山倍達総裁没後三十年、国際空手道連盟極真会館創立60周年、そして全日本ウェイト制大会40周年にふさわしい「武道性」や「理念」が感じられる「格調高い空手」が具現化されることを期待したい。

男子軽重量級 No.1 TSUJI TAKAYUKI

# 辻 隆行

昨年準優勝者が堂々の王座獲りへ  
他団体初の優勝で歴史を塗り替える



つじ・たかゆき  
真正会、初段  
164cm / 59kg / 23歳  
◎主な戦績  
2022 真正会全日本-65kg級 2位  
2023 全日本体重別軽重量級 2位

確かな組手技術を武器に、他団体から出場する選手の中で最も優勝に近いと目されているのが昨年の準優勝者・真正会の辻隆行だ。あと一步届かなかった表彰台の中央に立つため、この一年間は技の威力をテーマに稽古を重ね、勝負所で相手にペースを取られないように持久力や左右の動きも磨いてきた。全日本ウェイト制の歴史の中、辻が他団体初の優勝を果たすか？

男子軽重量級 No.11 KATO RYOSEI

# 加藤 竜成

切れのある足技とアグレッシブな組手  
念願の初優勝を目指す期待の17歳



かとう・りょうせい  
神奈川横浜東支部、初段  
167cm / 60kg / 17歳  
◎主な戦績  
2023 全日本体重別軽重量級 4位  
2023 全関東大会-60kg級優勝

昨年は優勝候補の一人、石田拓巳を破りベスト4に進出して頭角を表した神奈川横浜東支部期待の17歳。安定したボディバランスに加え、自分の距離をキープしながら下段蹴りと膝蹴り、切れのある上段蹴りを織り交ぜ波状攻撃を仕掛けるアグレッシブな組手が魅力。昨年取れた辻隆行にリベンジを果たし、同学年の昨年優勝者・反町洗太を下して念願の初優勝を目指す。

男子軽重量級 No.22 SORIMACHI KOTA

# 反町 洗太

昨年優勝して一気に浮上した高校生  
攻守隙を作らない組手で2連覇を狙う



そりまち・こうた  
東京城北支部、初段  
176cm / 60kg / 17歳  
◎主な戦績  
2023 全日本体重別軽重量級優勝  
2024 埼玉県大会無差別 2位

昨年の軽重量級優勝者であり、攻守隙を作らない組手スタイルで少年部時代から極真祭や国際親善大会など様々なタイトルを獲得してきた。昨年の第13回世界大会はリザーブ選手として帯同し、間近で最高峰の戦いを体感しているだけに、その経験がどれほどブラッシュアップに繋がっているか楽しみだ。前途洋々たる高校3年生の組手から決して目を離してはいけない。

男子軽重量級 No.24 ARTEMEV ASKAR

# アルテムフ・アスカー

優勝を射程圏内に収め2年連続出場  
惜敗した小林健人へのリベンジ誓う



I.K.O.RUSSIA、初段  
173cm / 70kg / 23歳  
◎主な戦績  
2022 全ロシア大会軽重量級優勝  
2023 全日本体重別軽重量級 2位  
2024 ロシアンカップ軽重量級 3位

昨年の大会では戦った5試合の中で4つの技有りを奪って準優勝したアルテムフ。特に蹴り技のスピードとパワー、タイミングは軽重量級の中では群を抜く存在だった。そのアルテムフが今年は優勝を射程圏内に収め、再びこの大会にチャレンジする。目指すは昨年決勝で敗れた小林健人へのリベンジと頂点に到達すること。そして来年開催の世界ウェイト制も視野に入れる。

男子軽重量級 No.38 HIGUCHI CHIHARU

# 樋口 知春

中量級優勝者が階級変更で軽重量級出場  
パワーを活かし悲願の2階級制覇へ



ひぐち・ちはる  
総本部道場、初段  
171cm / 70kg / 26歳  
◎主な戦績  
2018 全日本ウェイト制中量級優勝  
2019 第12回世界大会ベスト16  
2022 全日本体重別中量級 4位

2018年の中量級優勝者で2019年第12回世界大会ではベスト16に進出するなど実績は充分。26歳にしてベテランの風格ささえ漂わせる樋口が2年ぶりに出場する。突きも足技も切れるオールラウンダーで、スピードとスタミナが持ち味の試合巧者。階級を落とした今大会、パワー面では確実にアドバンテージがあり、そこが上手く活かされれば悲願の2階級制覇も夢ではない。

男子軽重量級 No.39 KANEKO YUDAI

# 金子 雄大

強気な姿勢で持ち味を発揮できれば  
夢の2階級制覇が現実味を帯びる



かねこ・ゆうだい  
東京城西支部、初段  
164cm / 65kg / 22歳  
◎主な戦績  
2022 全日本体重別軽重量級優勝  
2023 全日本体重別軽重量級 3位  
2023 西日本大会無差別優勝

一昨年の軽重量級優勝者で、昨年は軽重量級3位に入賞した東京城西支部期待の星。間合いをコントロールする冷静さとスピード、そして強く正確な技出しが特長で、昨年12月には無差別で行われた西日本大会で優勝してさらに自信を付けた。今大会でも強気な姿勢を崩さず、自分の持ち味を十分に発揮できれば、昨年成し得なかった2階級制覇が現実味を帯びてくる。

男子軽量級 No.53 KOBAYASHI KENTO

# 小林健人

卓越した技術と高い経験値が武器  
2連覇に向けた魂の戦いが始まる



こばやし・けんと  
東京城北支部、二段  
173cm / 70kg / 29歳  
◎主な戦績  
2020 第52回全日本大会 8位  
2022 全日本体重別軽量級 2位  
2023 全日本体重別軽量級優勝

あふれ出る熱い思いは抑えきれない。2度の世界大会を経験し、今後は指導者一本の道を進むことも考えたが、自分が戦う背中を見せるのも指導の一つ。そして燃える心の炎は消えてはいない。突きのパワーや蹴りに繋げるスピードとタイミングは軽量級随一で全方位攻撃可能な技巧派。プラス積み重ねた高い経験値が最大の武器。2連覇に向けた小林の“魂の戦い”が始まる。

男子中量級 No.54 OHATA RYOJI

# 大秦稜司

捲土重来を期して再出発する今大会  
新たな組手で2度目の頂点を狙う



おおはた・りょうじ  
京都支部、初段  
170cm / 80kg / 23歳  
◎主な戦績  
2022 全日本体重別中量級優勝  
2022 東日本大会無差別優勝  
2022 第54回全日本大会 3位

2022年無差別全日本で3位となり、大きな期待を受けて挑んだ昨年の第13回世界大会は無念の4回戦敗退。世界の壁を知り、捲土重来を期してリスタートする今大会で、大秦に求められるのは圧倒的な強さを示すこと。もともと下段蹴りを軸とした技の威力は他の追随を許さない。その上で機動力を発揮するなど新たなスタイルを構築させ、2度目の頂点を勝ち取りたい。

男子中量級 No.72 TANIGAWA SOYA

# 谷川蒼哉

世界大会での激闘が経験と自信に  
総本部に優勝トロフィーを持ち帰る



たにがわ・そうや  
総本部道場、初段  
171cm / 77kg / 22歳  
◎主な戦績  
2021・2022 真正会全日本中量級優勝  
2022 全日本体重別中量級 3位  
2023 全日本体重別中量級 4位

一昨年3位、昨年4位と安定した成績を取め優勝候補の一角に挙げられる谷川。昨年の第13回世界大会では身長差18cm、体重差33kgのエキモフ・マクシムと激闘を繰り広げ、敗れはしたものの大いなる可能性を感じさせた。世界大会の経験と同門のコバレンコヤや樋口知春との稽古がさらに成長を促し、「総本部に優勝トロフィーを持ち帰る」と自信を持って語る谷川に注目!

男子中量級 No.73 POLIAKOV ILIA

# ポリアコフ・イリア

ナシメント、大秦稜司を破った実力者  
日本勢を相手にどこまで勝ち進むのか



I.K.O.RUSSIA、二段  
185cm / 79kg / 26歳  
◎主な戦績  
2022 ロシアンカップ無差別 7位  
2023 第13回世界大会ベスト16  
2024 ロシアンカップ中量級優勝

第13回世界大会において入賞選手以外で最も強く印象に残ったのがポリアコフだ。2回戦で巨人ナシメント・イカロを下し、4回戦では第54回全日本3位の大秦稜司をも撃破してベスト16。その組手は185cmの長身から繰り出される長いリーチを活かした攻撃が主体で、精神的な強さやタフネスさも備えている。日本選手を相手にどこまで勝ち進むのか、予想もつかない。

男子中量級 No.90 IIZUKA TSUBASA

# 飯塚翼

世界大会での失敗が逆に成長の糧に  
大きな進化を示し大会3連覇を狙う



いづか・つばさ  
東京城北支部、初段  
173cm / 80kg / 21歳  
◎主な戦績  
2022 第53回全日本大会 8位  
2022 全日本体重別軽量級優勝  
2023 全日本体重別中量級優勝

一昨年轻量級優勝、昨年は中量級優勝と、コロナ禍後のウェイト制大会で最も高い勝率を誇る飯塚。しかし、第13回世界大会は注目を浴びながらも一瞬の隙を衝かれ、まさかの2回戦敗退。だが、その失敗が逆に成長の糧になっている。スピードと技の正確性、そして勝負の流れを読む嗅覚は抜群。大きな挫折を経験した若武者は、果たしてどんな進化を遂げているのか?!

男子軽重量級 No.91 SATO TAKUMI

# 佐藤拓海

世界大会は予想を上回る活躍で技能賞  
初優勝して日本を背負う存在になる!



さとう・たくみ  
東京城西支部、二段  
174cm / 85kg / 24歳  
◎主な戦績  
2020 第52回全日本大会新人賞  
2022 第53回全日本大会 6位  
2023 第13回世界大会ベスト16・技能賞

昨年の第13回世界大会ではリザーバーから出場機会を得て、ベスト16まで一気に駆け上がり技能賞を獲得した佐藤。予想を上回る活躍だった。多くの強豪を輩出する東京城西支部で練り込まれた巧みな間合い操作とポジショニング、勝負所で攻め切れる技術力は逸逸。自他ともに今後の日本を背負う存在として期待を集め、だからこそ今大会では悲願の初優勝を目指す。

男子軽重量級 No.104 YAMAGAMI DAIKI

# 山上大輝

世界大会技能賞の上段前蹴りに注目  
3年後を目標に不転の覚悟で挑む



やまがみ・だいき

東京城北支部、初段  
181cm / 84kg / 23歳  
◎主な戦績  
2022 第54回全日本大会 8位  
2023 全日本体重別軽重量級 2位  
2023 第13回世界大会技能賞

一瞬たりとも目が離せない必殺の上段前蹴りで技有りの山を築き、第13回世界大会では技能賞を獲得。世界大会前はこの大会を最後に現役引退を考えていたが、一転、次の第14回世界大会を目標に掲げ、就職の内定を辞して空手の道で生きて行くことを決意した。不転の覚悟で挑む今大会では、上段前蹴りだけではなく、全てにおいてビルドアップされた山上に注目だ。

男子軽重量級 No.105 TOKUDA KANTA

# 徳田寛大

2度の世界大会を経験した関西の雄  
今大会は初優勝を懸け正念場の戦い



とくだ・かんだ

大阪南支部、初段  
180cm / 89kg / 29歳  
◎主な戦績  
2017・2018 全日本ウエイト制重量級 4位  
2022 全日本体重別軽重量級 2位  
2022 全日本体重別軽重量級 3位

2度の世界大会を経験し、他にも各地の国際大会など数多くの修羅場をくぐってきた地元・関西の雄。巧みな試合運びでリズムを掴むと相手を逃すことなく攻撃を浴びせ続ける老獪な組手は、まさにベテランの妙。一昨年は準優勝、昨年は3位と常に入賞圏内をキープし、諦めることなく戦い続けると誓う徳田にとって、今大会は初優勝を懸けた正念場の戦いになる。

男子軽重量級 No.117 FEDOSEEV ALEKSEI

# フェドシーフ・アレクセイ

世界8位の実力と最先端技術は必見  
今大会も一本、技有りを量産するか!?



I.K.O.RUSSIA、武段

179cm / 88kg / 25歳  
◎主な戦績  
2022 全ロシア大会軽重量級 2位  
2023 全日本体重別軽重量級 2位  
2023 第13回世界大会 8位

昨年、世界の舞台で一躍脚光を浴びたフェドシーフ。6月の前回大会準優勝から半年後の11月には第13回世界大会で8位に入賞し実力を開花させた。世界大会で2つの技有りをマークした足掛けからの下段突きはフェドシーフの真骨頂、現在の極真空手の最先端技術の一つであるとも言える。世界レベルの組手で一本、技有りを量産するのか、その戦いから目が離せない。

男子重量級 No.118 ARATA SHOKI

# 荒田昇毅

このままで終わるわけにはいかない  
37歳の挑戦者の復活劇に着目せよ!



あらた・しょうき

千葉海浜支部、武段  
183cm / 98kg / 37歳  
◎主な戦績  
2010・2012 全日本ウエイト制重量級優勝  
2013 世界ウエイト制重量級優勝  
2022 年第54回全日本大会 4位

2010年第27回大会で初優勝して以来、多くのファンを魅了した荒田だったが、昨年の第13回世界大会ではベスト16と苦杯をなめ、「自分が情けない」と天を仰いだ。今大会への出場は、今秋の第56回全日本、その後に続く第7回世界ウエイト制への布石だろう。今、荒田の「このままでは終われない」という叫びが闘志へと変わる。37歳の挑戦者の復活劇に着目せよ!

男子重量級 No.123 NISHIMURA TAIGA

# 西村大河

徹底した体力強化で階級アップ  
躍動感あふれる組手で頂点を狙う



にしむら・たいが

東京城北支部、初段  
183cm / 94kg / 20歳  
◎主な戦績  
2022 全日本体重別軽重量級 3位  
2022 東日本大会 2位  
2023 全日本体重別軽重量級 4位

期待の新鋭・西村が重量級に階級を上げて今大会に挑む。昨年第13回世界大会では技有りを重ね内外の注目を集めたが、フィジカル面の課題が浮き彫りになり、徹底して体力強化に励んだことで94kgまで増量に成功しての階級アップだ。躍動感あふれる組手と勢いだけでなくアイデアに富んだ試合運びが特長。様々な意味で試金石となる今大会で頂点を極められるか!?

男子重量級 No.127 EKIMOV MAKSIM

# エキモフ・マクシム

世界7位は全選手中の最高位の成績  
桁外れのパワーで初優勝へ突き進む



I.K.O.RUSSIA、武段

190cm / 110kg / 26歳  
◎主な戦績  
2022 ロシアンカップ無差別 2位  
2023 全ロシア大会無差別優勝  
2023 第13回世界大会 7位

昨年の第13回世界大会は7位に入賞。今大会に出場する全選手を通じて最高位の成績を誇る。エキモフの特徴は何と言ってもそのパワーにある。190cm、110kgの体格から繰り出される突き蹴りで相手を吹き飛ばし、それでいて俊敏な動きで下段突きなどの決め技を狙っていくなど技術面にも光るものがある。日本ではまだ無冠のエキモフが初のタイトル獲得に突き進む。

女子軽量級 No.128 TOKORO HANA

# 所 羽奈

去年は強豪フセインを破って初優勝  
世界大会を経て2年連続優勝を狙う



ところ・はな

東京城北支部、初段  
155cm / 53kg / 18歳  
◎主な戦績  
2022 東日本大会 - 55kg 級優勝  
2023 全日本体重別 - 50kg 級優勝  
2023 第13 回世界大会若獅子賞

昨年の前回大会では -50kg級に出場し、過去に世界女子ウェイト制で入賞経験もある I.K.O. クウェートのベテラン、フセイン・ドゥアを決勝で破って初優勝。日本代表として第13回世界大会にも出場した。所が所属する東京城北支部練馬道場は男子中量級優勝・飯塚翼、男子軽量級4位・廣本直也が在籍。その勢いを止めないためにも、所が2年連続優勝を目指す。

女子軽量級 No.135 ARTEMEVA NATARIA

# アルテムワ・ナタリア

長年I.K.O.ロシア女子軽量級を牽引  
29歳のベテランが日本で初栄冠を掴む



I.K.O.RUSSIA、武段  
165cm / 55kg / 29歳  
◎主な戦績  
2022 全ロシア大会軽量級優勝  
2023 全日本体重別 - 55kg 級 2位  
2024 ロシアンカップ軽量級 3位

2017年ヨーロッパウェイト制準優勝、2022年全ロシア大会優勝など長年 I.K.O. ロシアの女子軽量級を牽引してきた。去年は決勝で森岡優海に敗れたものの、11月の第13回世界大会では3回戦まで勝ち上がり、今年3月のロシアンカップでも軽量級3位に入賞するなど闘志は衰え知らず。軽量級の中では突出したパワーと決して下らない強気な組手で日本での初優勝を狙う。

女子軽量級 No.144 MORIOKA YUMI

# 森岡優海

尊敬する佐藤七海先輩を超えるため  
まずは今大会での2連覇が最低条件



もりおか・ゆうみ

東京城西国分寺支部、初段  
167cm / 54kg / 18歳  
◎主な戦績  
2023 全関東大会 - 55kg 級 3位  
2023 全日本体重別 - 55kg 級優勝  
2023 第13 回世界大会若獅子賞

去年はまだ17歳ながらウェイト制で優勝を遂げ、続く第13回世界大会では4位に入賞したコズロワ・エカテリーナに果敢に挑んでいった森岡。これまで下突きと下段蹴りなど細かい技が多かったが、今回は上段への蹴り技を徹底的に磨いてきた。世界大会で優勝を飾った佐藤七海は同じ道場の先輩にあたり、尊敬する先輩を超えるにはまず今大会での2連覇が最低条件だ。

女子中量級 No.153 KOJYO MINAMI

# 小城みなみ

170cmの長身を利した組手が持ち味  
潜在能力を開花させ中量級の頂点へ



こじょう・みなみ

千葉北支部、初段  
170cm / 63kg / 20歳  
◎主な戦績  
2022 東日本大会 + 55kg 級優勝  
2022 千葉県大会優勝  
2023 全日本体重別 + 55kg 級 4位

第13回世界大会で優勝した佐藤七海が第一線を退いた現在、日本女子のエース候補の一人に挙げられるのが小城だ。その最大の長所は170cmという恵まれた体格にある。長身を利した組手はもちろん、相手の攻撃を受け流す技術に長け、不意に放つ上段への蹴り技もヒット率が高い。小城の潜在能力が全開になった時、国内では無敵の存在になっているに違いない。

女子重量級 No.154 CHINEN RUKA

# 知念琉花

無差別の実績では日本国内で最上位  
知念がエースになるには優勝しかない



ちねん・るか

神奈川県横浜北支部、初段  
171cm / 68kg / 23歳  
◎主な戦績  
2021 東日本大会 + 55kg 級優勝  
2021 全関東大会 + 55kg 級優勝  
2022 第54 回全日本大会 3位

少年部時代から極真祭や国際親善大会で実績を積み上げてきた知念は、2022年の第54回全日本で3位に入賞して急浮上を遂げ、去年は第13回世界大会に出場。現在の女子選手の中で、無差別の実績では知念が最上位になる。171cmの長身から繰り出す上段前蹴りは打点も高く、世界大会では技有りを奪った。知念が日本のエースになるためにも、狙うは優勝しかない。

女子重量級 No.161 MIYAMOTO JIN

# 宮本 神

世界大会の苦い経験を機に意識を改革  
成果を発揮し今年こそ優勝を勝ち取る



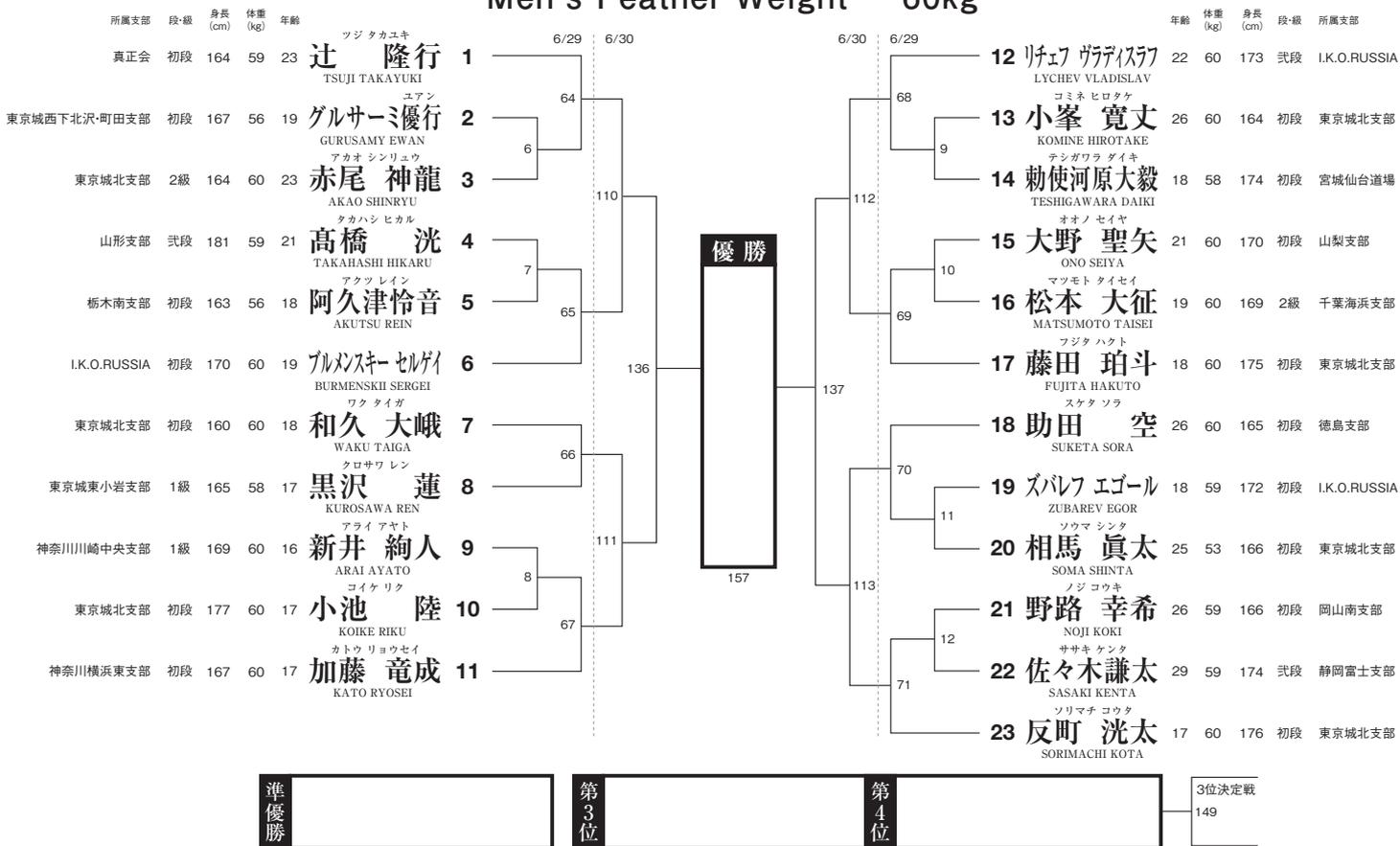
みやもと・じん

本部直轄浅草道場、初段  
167cm / 72kg / 23歳  
◎主な戦績  
2021 全関東大会 + 55kg 級 2位  
2021 全日本女子大会敢闘賞  
2023 全日本体重別重量級 2位

柔道で培った基礎体力を武器に、日本の女子選手には珍しいパワフルな組手を身上としている宮本。昨年の前回大会で準優勝し、続いて出場した第13回世界大会では海外勢のパワーの前にねじ伏せられたが、上には上がいることを知った宮本は世界大会以降、自分の長所を失わずに組手のレベルを上げる稽古に取り組んでいる。その成果が発揮されるのは今大会の舞台だ。

# 2024オーブントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会

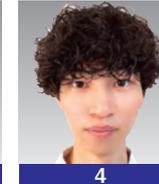
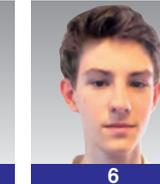
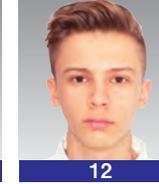
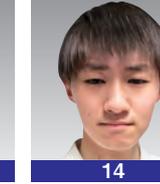
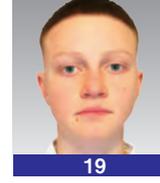
## 男子軽量級(-60kg級)トーナメント(23名) Men's Feather Weight -60kg



準優勝   第3位   第4位   3位決定戦 149

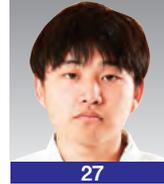
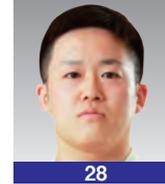
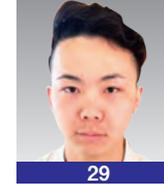
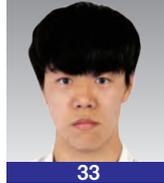
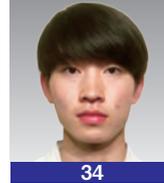
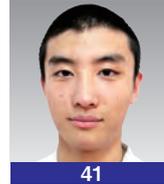
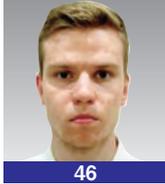
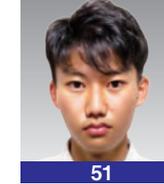
### 2024オーブントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会 出場選手一覧

#### 男子軽量級(-60kg級)出場選手 / Men's Feather Weight -60kg

 1 辻 隆行 TSUJI TAKAYUKI 164cm・59kg・23歳・初段 真正会	 2 グルサーミ優行 GURUSAMY EWAN 167cm・56kg・19歳・初段 東京城西下北沢・町田支部	 3 赤尾 神龍 AKAO SHINRYU 164cm・60kg・23歳・2級 東京城北支部	 4 高橋 洸 TAKAHASHI HIKARU 181cm・59kg・21歳・三段 山形支部	 5 阿久津 怜音 AKUTSU REN 163cm・56kg・18歳・初段 栃木南支部	 6 ブルムスキーセルゲイ BURMENSKII SERGEI 170cm・60kg・19歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 7 和久 大峨 WAKU TAIGA 160cm・60kg・18歳・初段 東京城北支部	 8 黒沢 蓮 KUROSAWA REN 165cm・58kg・17歳・1級 東京城東小岩支部
 9 新井 絢人 ARAI AYATO 169cm・60kg・16歳・1級 神奈川川崎中央支部	 10 小池 陸 KOIKE RIKU 177cm・60kg・17歳・初段 東京城北支部	 11 加藤 竜成 KATO RYOSEI 167cm・59kg・17歳・初段 神奈川横浜東支部	 12 リチュフ ヴラディスラフ LYCHEV VLADISLAV 173cm・60kg・22歳・三段 I.K.O.RUSSIA	 13 小峯 寛丈 KOMINE HIROTAKE 164cm・58kg・26歳・初段 東京城北支部	 14 勅使河原 大毅 TESHIGAWARA DAIKI 174cm・58kg・18歳・初段 宮城仙台道場	 15 大野 聖矢 ONO SEIYA 170cm・60kg・21歳・初段 山梨支部	 16 松本 大征 MATSUMOTO TAISEI 169cm・60kg・19歳・2級 千葉海浜支部
 17 藤田 珀斗 FUJITA HAKUTO 175cm・60kg・18歳・初段 東京城北支部	 18 助田 空 SUKETA SORA 165cm・60kg・26歳・初段 徳島支部	 19 ズバレフ エゴール ZUBAREV EGOR 172cm・59kg・18歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 20 相馬 眞太 SOMA SHINTA 166cm・53kg・25歳・初段 東京城北支部	 21 野路 幸希 NOJI KOKI 166cm・59kg・26歳・初段 岡山南支部	 22 佐々木 謙太 SASAKI KENTA 174cm・59kg・29歳・三段 静岡富士支部	 23 反町 洸太 SORIMACHI KOTA 176cm・60kg・17歳・初段 東京城北支部	

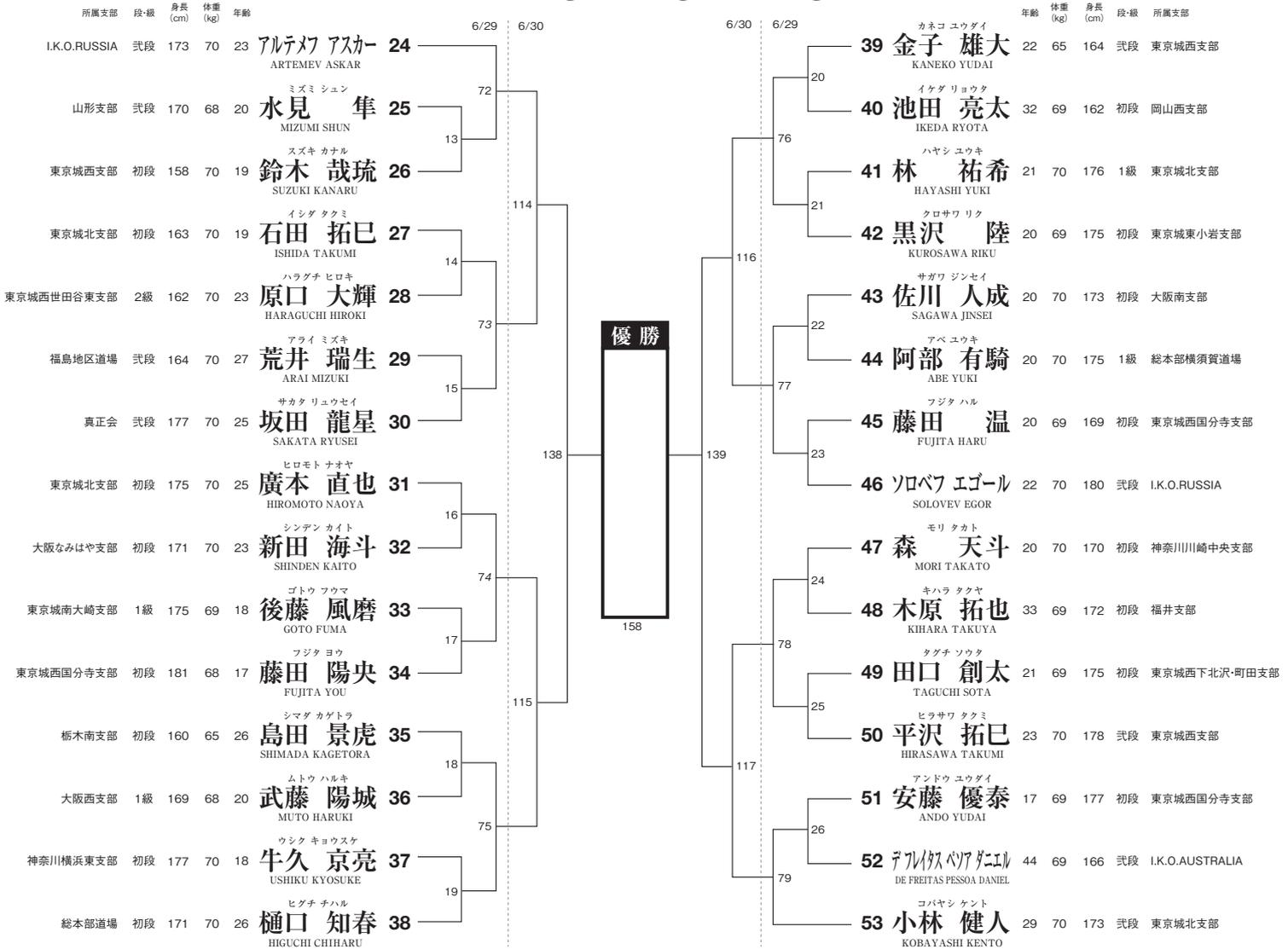
2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会 出場選手一覧

男子軽量級(-70kg級)出場選手 / Men's Light Weight -70kg

 <b>24</b> アルテムフアスカー ARTEMEV ASKAR 173cm・70kg・23歳・式段 I.K.O.RUSSIA	 <b>25</b> 水見 隼 MIZUMI SHUN 170cm・68kg・20歳・式段 山形支部	 <b>26</b> 鈴木 哉琉 SUZUKI KANARU 158cm・70kg・19歳・初段 東京城西支部	 <b>27</b> 石田 拓巳 ISHIDA TAKUMI 163cm・70kg・19歳・初段 東京城北支部	 <b>28</b> 原口 大輝 HARAGUCHI HIROKI 162cm・70kg・23歳・2級 東京城西世田谷東支部	 <b>29</b> 荒井 瑞生 ARAI MIZUKI 164cm・70kg・27歳・式段 福島地区道場	 <b>30</b> 坂田 龍星 SAKATA RYUSEI 177cm・70kg・25歳・式段 真正会
 <b>31</b> 廣本 直也 HIROMOTO NAOYA 175cm・70kg・25歳・初段 東京城北支部	 <b>32</b> 新田 海斗 SHINDEN KAITO 171cm・70kg・23歳・初段 大阪なみはや支部	 <b>33</b> 後藤 風磨 GOTO FUMA 175cm・69kg・18歳・1級 東京城南大崎支部	 <b>34</b> 藤田 陽央 FUJITA YOU 181cm・68kg・17歳・初段 東京城西国分支部	 <b>35</b> 島田 景虎 SHIMADA KAGETORA 160cm・65kg・26歳・初段 栃木南支部	 <b>36</b> 武藤 陽城 MUTO HARUKI 169cm・68kg・20歳・1級 大阪西支部	 <b>37</b> 牛久 京亮 USHIKU KYOSUKE 177cm・70kg・18歳・初段 神奈川横浜東支部
 <b>38</b> 樋口 知春 HIGUCHI CHIHARU 171cm・70kg・26歳・初段 総本部道場	 <b>39</b> 金子 雄大 KANEKO YUDAI 164cm・65kg・22歳・式段 東京城西支部	 <b>40</b> 池田 亮太 IKEDA RYOTA 162cm・69kg・32歳・初段 岡山西支部	 <b>41</b> 林 祐希 HAYASHI YUKI 176cm・70kg・21歳・1級 東京城北支部	 <b>42</b> 黒沢 陸 KUROSAWA RIKU 175cm・69kg・20歳・初段 東京城東小岩支部	 <b>43</b> 佐川 人成 SAGAWA JINSEI 173cm・70kg・20歳・初段 大阪南支部	 <b>44</b> 阿部 有騎 ABE YUKI 175cm・70kg・20歳・1級 総本部横須賀道場
 <b>45</b> 藤田 温 FUJITA HARU 169cm・69kg・20歳・初段 東京城西国分寺支部	 <b>46</b> ソロベフ エゴール SOLOVEV EGOR 180cm・70kg・22歳・式段 I.K.O.RUSSIA	 <b>47</b> 森 天斗 MORI TAKATO 170cm・70kg・20歳・初段 神奈川川崎中央支部	 <b>48</b> 木原 拓也 KIHARA TAKUYA 172cm・69kg・33歳・初段 福井支部	 <b>49</b> 田口 創太 TAGUCHI SOTA 175cm・69kg・21歳・初段 東京城西下北沢・町田支部	 <b>50</b> 平沢 拓巳 HIRASAWA TAKUMI 178cm・70kg・23歳・式段 東京城西支部	 <b>51</b> 安藤 優泰 ANDO YUDAI 177cm・69kg・17歳・初段 東京城西国分寺支部
 <b>52</b> デ Freitas ペソア ダニエル DE FREITAS PESSOA DANIEL 166cm・69kg・44歳・式段 I.K.O.AUSTRALIA	 <b>53</b> 小林 健人 KOBAYASHI KENTO 173cm・70kg・29歳・式段 東京城北支部					

# 2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会

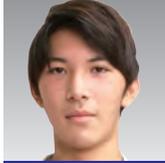
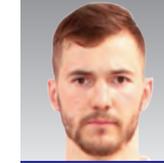
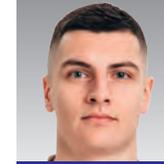
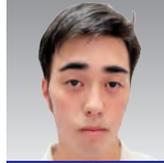
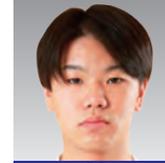
## 男子軽量級(-70kg級)トーナメント(30名) Men's Light Weight -70kg



準優勝 [ ] 第3位 [ ] 第4位 [ ] 3位決定戦 150 [ ]

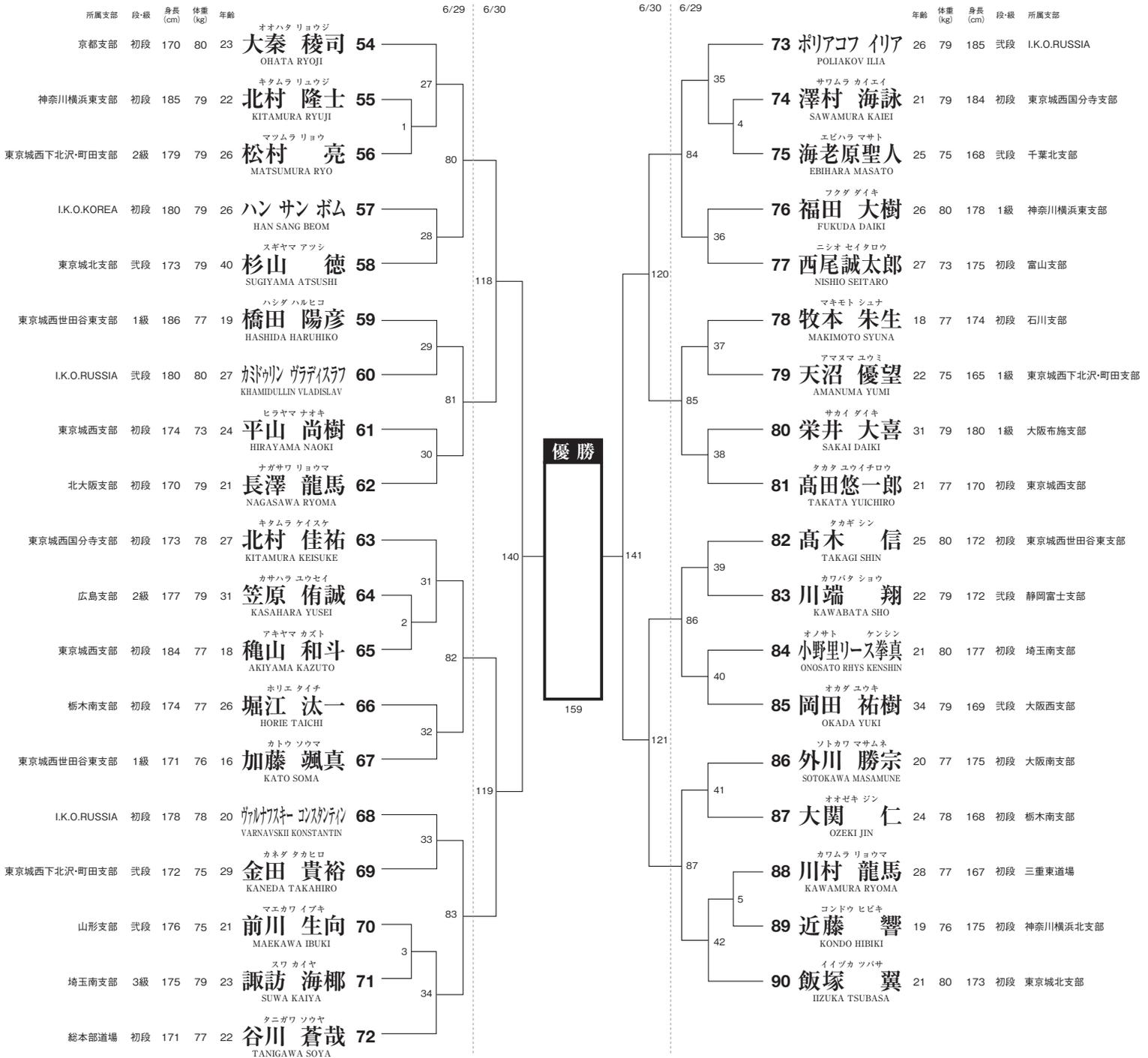
2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会 出場選手一覧

男子中量級(-80kg級)出場選手/Men's Middle Weight -80kg

 54 大秦 稜司 OHTA RYOJI 170cm・80kg・23歳・初段 京都支部	 55 北村 隆士 KITAMURA RYUJI 185cm・79kg・22歳・初段 神奈川横浜東支部	 56 松村 亮 MATSUMURA RYO 179cm・79kg・26歳・2級 東京城西下北沢・町田支部	 57 ハンサンボム HAN SANG BEOM 180cm・79kg・26歳・初段 I.K.O.KOREA	 58 杉山 徳 SUGIYAMA ATSUSHI 173cm・79kg・40歳・式段 東京城北支部	 59 橋田 陽彦 HASHIDA HARUHIKO 186cm・77kg・19歳・1級 東京城西世田谷東支部	 60 カミドリンヴァディラフ KHAMIDULLIN VLADISLAV 180cm・80kg・27歳・式段 I.K.O.RUSSIA
 61 平山 尚樹 HIRAYAMA NAOKI 174cm・73kg・24歳・初段 東京城西支部	 62 長澤 龍馬 NAGASAWA RYOMA 170cm・79kg・21歳・式段 北大阪支部	 63 北村 佳祐 KITAMURA KEISUKE 173cm・78kg・27歳・初段 東京城西国分寺支部	 64 笠原 侑誠 KASAHARA YUSEI 177cm・79kg・31歳・2級 広島支部	 65 稚山 和斗 AKIYAMA KAZUTO 184cm・77kg・18歳・初段 東京城西支部	 66 堀江 汰一 HORIE TAICHI 174cm・77kg・26歳・初段 栃木南支部	 67 加藤 颯真 KATO SOMA 171cm・76kg・16歳・1級 東京城西世田谷東支部
 68 ヴァルナフスキー・コンスタンティン VARNAVSKII KONSTANTIN 178cm・78kg・20歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 69 金田 貴裕 KANEDA TAKAHIRO 172cm・75kg・29歳・式段 東京城西下北沢・町田支部	 70 前川 生向 MAEKAWA IBUKI 176cm・75kg・21歳・式段 山形支部	 71 諏訪 海椰 SUWA KAIYA 175cm・79kg・23歳・3級 埼玉南支部	 72 谷川 蒼哉 TANIGAWA SOYA 171cm・77kg・18歳・初段 総本部道場	 73 ポリャコフ イリア POLIAKOV ILIIA 185cm・79kg・26歳・式段 I.K.O.RUSSIA	 74 澤村 海詠 SAWAMURA KAIJI 184cm・79kg・21歳・初段 東京城西国分寺支部
 75 海老原 聖人 EBIHARA MASATO 168cm・75kg・25歳・式段 千葉北支部	 76 福田 大樹 FUKUDA DAIKI 178cm・80kg・26歳・1級 神奈川横浜東支部	 77 西尾 誠太郎 NISHIO SEITARO 175cm・73kg・27歳・初段 富山支部	 78 牧本 朱生 MAKIMOTO SYUNA 174cm・77kg・18歳・初段 石川支部	 79 天沼 優望 AMANUMA YUMI 165cm・75kg・22歳・1級 東京城西下北沢・町田支部	 80 栄井 大喜 SAKAI DAIKI 180cm・79kg・31歳・1級 大阪布施支部	 81 高田 悠一郎 TAKATA YUICHIRO 170cm・77kg・21歳・初段 東京城西支部
 82 高木 信 TAKAGI SHIN 172cm・80kg・25歳・初段 東京城西世田谷東支部	 83 川端 翔 KAWABATA SHO 172cm・79kg・22歳・式段 静岡富士支部	 84 小野里 リース拳真 ONOSATO RHYS KENSHIN 177cm・80kg・21歳・初段 埼玉南支部	 85 岡田 祐樹 OKADA YUKI 169cm・79kg・34歳・式段 大阪西支部	 86 外川 勝宗 SOTOKAWA MASAMUNE 175cm・77kg・20歳・初段 大阪南支部	 87 大関 仁 OZEKI JIN 168cm・78kg・24歳・初段 栃木南支部	 88 川村 龍馬 KAWAMURA RYOMA 167cm・77kg・28歳・初段 三重東道場
 89 近藤 響 KONDO HIBIKI 175cm・76kg・19歳・初段 神奈川横浜北支部	 90 飯塚 翼 IIZUKA TSUBASA 173cm・80kg・21歳・初段 東京城北支部					

# 2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会

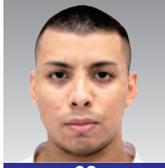
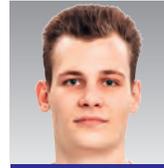
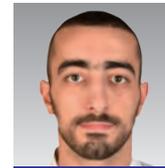
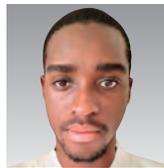
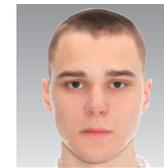
## 男子中量級(-80kg級)トーナメント(37名) Men's Middle Weight -80kg



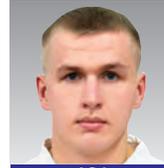
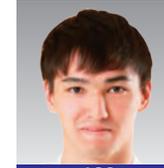
準優勝
第3位
第4位
3位決定戦 151

2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会 出場選手一覧

■男子軽重量級(-90kg級)出場選手/Men's Heavy Weight -90kg

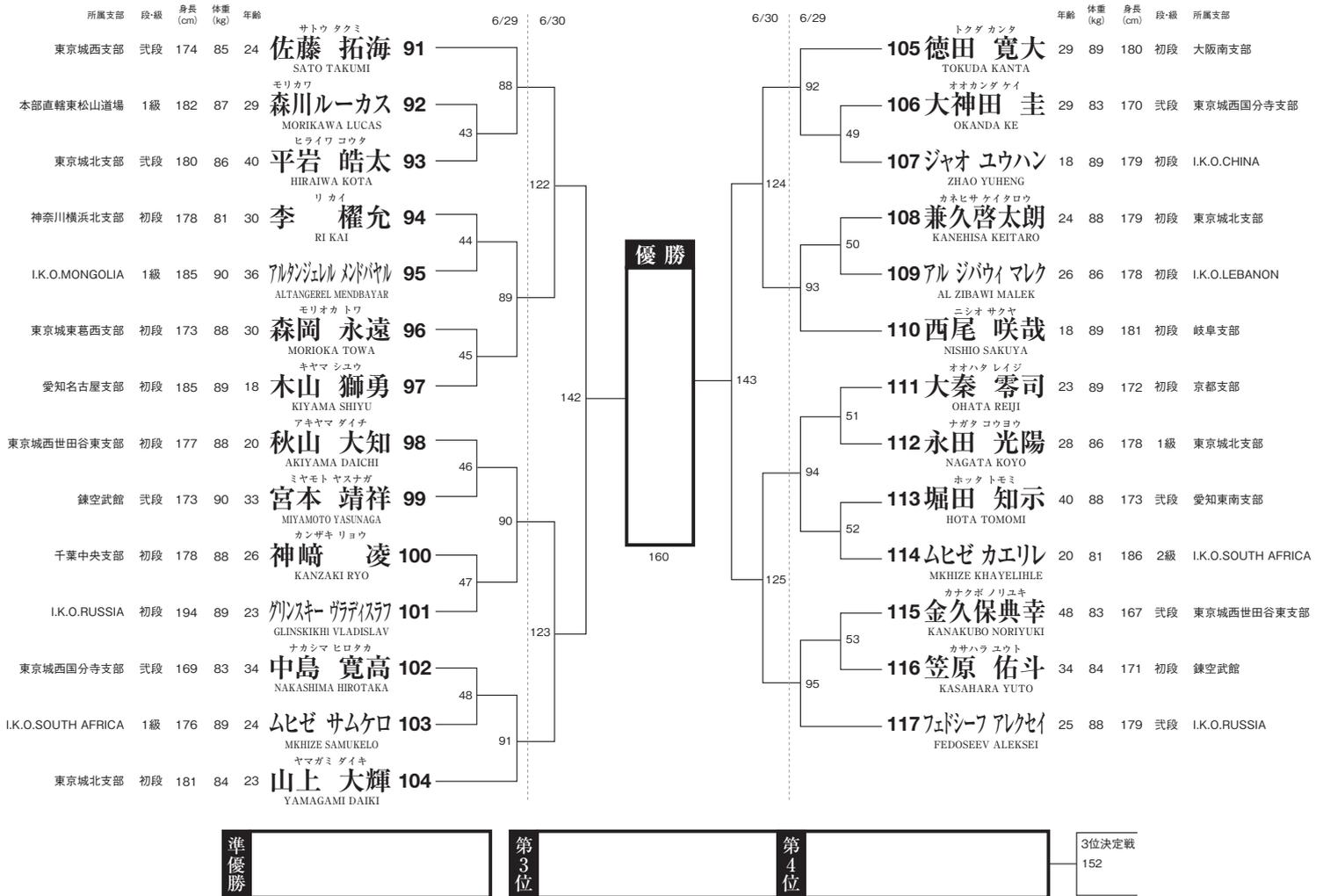
 91 佐藤 拓海 SAITO TAKUMI 174cm・85kg・24歳・式段 東京城西支部	 92 森川ルーカス MORIKAWA LUCAS 182cm・87kg・29歳・1級 本部直轄東松山道場	 93 平岩 皓太 HIRAIWA KOTA 180cm・86kg・40歳・式段 東京城北支部	 94 李 權允 RI KAI 178cm・81kg・30歳・初段 神奈川横浜北支部	 95 アルタンジェル メンバヤル ALTANGEREL MENDBAYAR 185cm・90kg・36歳・1級 I.K.O.MONGOLIA	 96 森岡 永遠 MORIOKA TOWA 173cm・88kg・30歳・初段 東京城東葛西支部	 97 木山 獅勇 KIYAMA SHIYU 185cm・89kg・18歳・初段 愛知名古屋支部
 98 秋山 大知 AKIYAMA DAICHI 177cm・88kg・20歳・初段 東京城西世田谷東支部	 99 宮本 靖祥 MIYAMOTO YASUNAGA 173cm・90kg・33歳・式段 鎌空武館	 100 神崎 凌 KANZAKI RYO 178cm・89kg・26歳・初段 千葉中央支部	 101 Глинский Владислав GLINSKIY VLADISLAV 194cm・89kg・23歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 102 中島 寛高 NAKASHIMA HIRO TAKA 169cm・83kg・34歳・式段 東京城西国分寺支部	 103 Мхице Самкело MKHIZE SAMKELO 176cm・88kg・24歳・1級 I.K.O.SOUTH AFRICA	 104 山上 大輝 YAMAGAMI DAIKI 181cm・84kg・23歳・初段 東京城北支部
 105 徳田 寛大 TOKUDA KANTA 180cm・88kg・29歳・初段 大阪南支部	 106 大神田 圭 OKANDA KEI 170cm・83kg・29歳・式段 東京城西国分寺支部	 107 Zhao Yuheng ZHAO YUHEN 179cm・89kg・18歳・初段 I.K.O.CHINA	 108 兼久啓太朗 KANEHISA KEITARO 179cm・88kg・24歳・初段 東京城北支部	 109 Al Zibawi Malek AL ZIBAWI MALEK 178cm・88kg・18歳・初段 I.K.O.LEBANON	 110 西尾 咲哉 NISHIO SAKUYA 181cm・89kg・18歳・初段 岐阜支部	 111 大秦 零司 OHATA REIJI 172cm・89kg・23歳・初段 京都支部
 112 永田 光陽 NAGATA KOYO 178cm・86kg・28歳・1級 東京城北支部	 113 堀田 知示 HOTA TOMOMI 173cm・88kg・40歳・式段 愛知東南支部	 114 Мхице Каериле MKHIZE KHAYELIHE 186cm・81kg・20歳・2級 I.K.O.SOUTH AFRICA	 115 金久保典幸 KANAKUBO NORIYUKI 167cm・83kg・48歳・式段 東京城西世田谷東支部	 116 笠原 佑斗 KASAHARA YUTO 171cm・84kg・34歳・初段 鎌空武館	 117 Федосеев Алексей FEDOSEEV ALEKSEI 179cm・88kg・25歳・式段 I.K.O.RUSSIA	

■男子重量級(+90kg級)出場選手/Men's Super Heavy Weight +90kg

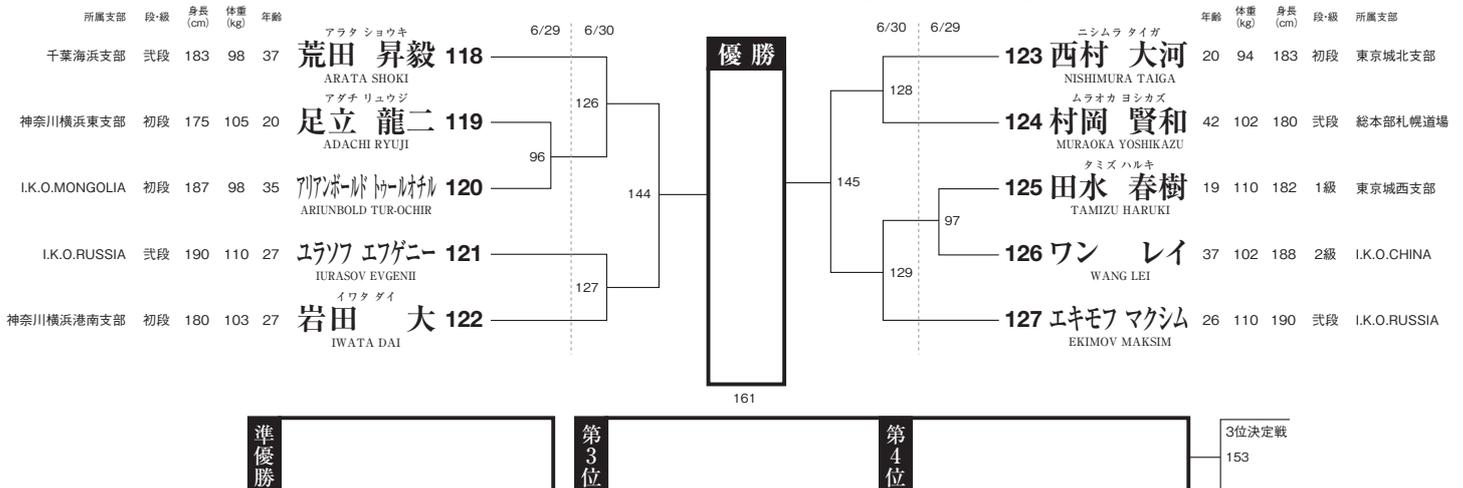
 118 荒田 昇毅 ARATA SHOKI 183cm・98kg・37歳・式段 千葉海浜支部	 119 足立 龍二 ADACHI RYUJI 175cm・105kg・20歳・初段 神奈川横浜東支部	 120 Ариунболд Тур-Очири ARIUNBOLD TUR-UCHIRI 187cm・98kg・35歳・初段 I.K.O.MONGOLIA	 121 Юрасов Евгений IURASOV EVGENII 190cm・110kg・27歳・式段 I.K.O.RUSSIA	 122 岩田 大 IWATA DAI 180cm・103kg・27歳・初段 神奈川横浜港南支部	 123 西村 大河 NISHIMURA TAIGA 183cm・94kg・20歳・初段 東京城北支部	 124 村岡 賢和 MURAOKA YOSHIKAZU 180cm・102kg・42歳・式段 総本部札幌道場
 125 田水 春樹 TAMIZU HARUKI 182cm・110kg・19歳・1級 東京城西支部	 126 ワンレイ WANG LEI 188cm・102kg・37歳・2級 I.K.O.CHINA	 127 Екимов Максим EKIMOV MAKSIM 190cm・110kg・26歳・式段 I.K.O.RUSSIA				

# 2024オープントーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会

## 男子軽重量級(-90kg級)トーナメント(27名) Men's Heavy Weight -90kg

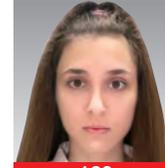


## 男子重量級(+90kg級)トーナメント(10名) Men's Super Heavy Weight +90kg



2024オープナーナメント 第39回全日本ウェイト制空手道選手権大会 出場選手一覧

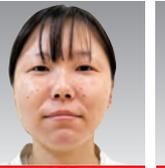
■女子軽量級(-55kg級) 出場選手 / Women's Light Weight -55kg

 128 所 羽奈 TOKORO HANA 155cm・53kg・18歳・初段 東京城北支部	 129 小山内奈々美 OSANAI NANAMI 154cm・49kg・21歳・初段 東京城西国分寺支部	 130 イエスランミンジマ YESULAN MINJMAA 158cm・53kg・18歳・初段 I.K.O.MONGOLIA	 131 鈴木 千凌 SUZUKI CHISHINO 164cm・54kg・17歳・初段 東京城南池上支部	 132 福永 ゆら FUKUNAGA YURA 155cm・55kg・19歳・初段 東京城西支部	 133 今井 彩弥 IMAI AYA 159cm・53kg・20歳・初段 東京城西世田谷東支部	 134 富沢 真優 TOMISAWA MAYU 158cm・52kg・23歳・初段 秋田支部
 135 アルテムワナタリア ARTEMEVA NATALIA 165cm・55kg・29歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 136 八幡 華菜 YAHATA KANA 160cm・52kg・23歳・初段 東京城西支部	 137 ナンディランアニスン NANDINLAN ANISUN 156cm・50kg・21歳・1級 I.K.O.MONGOLIA	 138 池田 心結 IKEDA MIYU 159cm・53kg・18歳・1級 東京城西世田谷東支部	 139 カザリアンアレクサンドラ KAZARIAN ALEKSANDRA 170cm・54kg・21歳・初段 I.K.O.RUSSIA	 140 櫻田まどか SAKURADA MADOKA 158cm・51kg・21歳・初段 秋田支部	 141 榎本由里子 ENOMOTO YURIKO 156cm・51kg・22歳・2級 北海道札幌東支部
 142 池上 采那 IKEGAMI AYANA 155cm・54kg・21歳・1級 千葉下総支部	 143 前川貴和女 MAEKAWA KIWAME 151cm・50kg・19歳・初段 静岡富士支部	 144 森岡 優海 MORIOKA YUMI 167cm・54kg・18歳・初段 東京城西国分寺支部				

■女子中量級(-65kg級) 出場選手 / Women's Middle Weight -65kg

 145 河合 風香 KAWAI FUKA 170cm・63kg・26歳・3級 広島支部	 146 石神詩英羅 ISHIGAMI SHIERA 153cm・65kg・16歳・2級 千葉北支部	 147 ブラウンソフィア BROWN SOFIJA 168cm・64kg・26歳・初段 I.K.O.AUSTRALIA	 148 藤本 美桜 FUJIMOTO MIO 163cm・63kg・21歳・初段 総本部若手道場	 149 石田 麗奈 ISHIDA REINA 166cm・57kg・23歳・2級 本部直轄浅草道場	 150 徳田 茄麗 TOKUDA KAREN 163cm・64kg・26歳・1級 大阪なみはや支部	 151 桃原梨璃伽 MOMOHARA RIRIKA 163cm・60kg・19歳・1級 東京城西下北沢・町田支部
 152 鈴木 花菜 SUZUKI KANA 157cm・58kg・23歳・1級 総本部横須賀道場	 153 小城みなみ KOJYO MINAMI 170cm・63kg・20歳・初段 千葉北支部					

■女子重量級(+65kg級) 出場選手 / Women's Heavy Weight +65kg

 154 知念 琉花 CHINEN RUKA 171cm・68kg・23歳・初段 神奈川横浜北支部	 155 田崎 佑麻 TASAKI YUMA 161cm・78kg・36歳・初段 広島支部	 156 岡野 結衣 OKANO YUI 159cm・73kg・16歳・1級 茨城支部	 157 今井 佑奈 IMAI YUNA 163cm・88kg・19歳・2級 東京城西世田谷東支部	 158 岡田 冴月 OKADA SATSUKI 166cm・72kg・17歳・初段 東京城西世田谷東支部	 159 遠藤ひとみ ENDO HITOMI 161cm・82kg・30歳・初段 神奈川大和支部	 160 高山 恵 TAKAYAMA MEGUMI 164cm・85kg・18歳・初段 東京城北支部	 161 宮本 神 MIYAMOTO JIN 167cm・72kg・23歳・初段 本部直轄浅草道場
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



# I.K.O. 審判資格者

2024年6月現在  
as of 2024 JUNE

## I.K.O. Officiating License Holders List

※準副審判員は省略

### ◆審判委員会 (Officiating Committee)

審判長 (Committee Chairman)

磯部 清次 ISOBESEIJI

副審判長 (Committee Vice Chairman)

ケニー ウーテンボガート

KENNY UYTENBOGAARDT

山田 雅稔 YAMADA MASATOSHI

審議委員 (Committee Member)

河岡 博實 KAWAOKA HIROMI

川畑 幸一 KAWABATA KOICHI

浜井 良顕 HAMAI YOSHIKAKI

スチュアート コリガル

STUART CORRICAL

### ◆特別審判員 (Executive Referee)

五来 克仁 GORAIKATSUHIITO

福田 勇 FUKUDA ISAMU

八巻 建志 YAMAKI KENJI

### ◆主審判員 (Referee)

赤石 誠

阿部 清文

伊藤 慎

入澤 群

小田 勝幸

鴨志田 裕寿

河岡 晶俊

川本 英児

菅野 秀裕

木立 仁

進 裕治

杉村 多一郎

田中 隆昌

戸田 直志

橋爪 彦彦

羽田 シゲル

福田 達也

ホヴァニシアン アルトゥール

三村 政史

山口 進也

横山 誠

### ◆準主審判員 (Associate Referee)

青木 英憲

安島 喬平

足立 慎史

池田 祥規

石黒 康之

石田 伸太

伊藤 和摩

今井 宏幸

岩田 厚

岡田 幸喜

隠岐 忠頭

柿沼 英明

加藤 瑞基

北本 都士

黒田 都士

毛塚 慎一

小坂 精作

佐々木 敏也

塩島 修

鈴木 雄三

瀬戸 口雅昭

田ヶ原 正文

竹石 修

谷口 正明

徳田 忠邦

中塚 信夫

仲間 博之

中村 章子

永田 淳平

西村 泰典

秦 貴典

初川 正彦

日比野 丈二

ホスロ ヤグビ

細野 由人

堀田 裕晴

本間 唯志

前川 克信

松永 敏

御子 直司

三村 忠義

三宅 義人

宮脇 英彰

村田 達也

森 善十郎

守 友 完矢

### ◆公式審判員 (Judge)

青木 修

青木 慎二

東 博昭

荒井 茂雄

新井 敏雄

荒田 昇毅

荒玉 康夫

石川 博栄

板橋 清隆

今西 登彦

梅本 直

江口 美幸

江口 芳治

大谷 善次

岡田 祐樹

小沼 隆一

貝沼 慶多

垣内 翔

嘉藤 伸作

加藤 雄作

香取 宏明

金久 保典

鎌田 翔幸

鴨志田 洋幸

川村 剛宏

川村 龍馬

菊地 修

北川 宗裕

久保 則之

久保 英和

倉島 直樹

栗原 昌

呉 昌紀

高武 慎之介

小坂 武史

小林 節

小林 龍太

桜沢 昌一

桜沢 正大

澤田 基

澤田 乃一

倉田 好己

島田 美

白川 彰一

白川 彰一

白川 慎之助

真銅 宏二

鈴木 悦一

鈴木 由一

高井 康弘

高崎 秀之

竹岡 拓哉

竹岡 祐麻

田中 勢二

田中 正信

田邊 英明

田邊 拓也

一樹 樹

典久 義大

津田 寛諒

徳田 介

中 淳一

中 惟時

西尾 大輝

根本 清志

根羽 和美

林 芳彦

馬場 武

比樋 嘉恵

樋口 正樹

日野 敏也

平尾 裕仁

福森 堅秀

藤野 尊浩

古堀 忠雄

城内 典隆

松村 裕介

三角 秀良

水品 昌浩

三井 昌浩

宮崎 昌浩

本村 愛一

八木 千鶴

矢部 剛

山上 博文

吉田 克浩

### ◆準審判員 (Associate Judge)

相澤 一賀

相澤 孝次

相澤 秀樹

青木 海

青木 孝

青木 至

青柳 香美

明石 浩太

秋元 英子

秋本 勝宏

秋本 結奈

秋山 治

秋山 俊郎

阿久津 怜音

明日 清志

浅井 清

朝井 清子

浅川 好義

浅田 潤

浅田 明美

朝日 浩司

阿座 圭

阿曾 健太郎

阿曾 芳樹

阿曾 努

阿曾 完児

阿曾 修一

阿曾 貴史

阿曾 仁士

阿曾 樹

阿曾 三夫

阿曾 勝子

阿曾 ゆり

阿曾 良

天笠 久夫

天笠 朝之

アミール バクシ

荒井 瑞生

新井 安行

荒井 裕志

荒井 瑞幸

荒井 善

聡 竜司

荒野 秀樹

荒屋 晃之

有安 藤宏

安藤 公誠

安藤 増実

安藤 義人

飯島 信二

飯島 昌宏

飯島 由久

飯田 一義

飯田 貴健

飯塚 努

飯塚 勉

飯塚 光

飯塚 博之

飯野 圭一

飯山 直人

飯井 貴順

井川 洋介

井口 成人

池上 采那

池嶋 傑

池尻 俊哉

池田 歩実

池田 孝徳

池田 美穂

池田 康之

池田 喜紀

池田 亮太

池内 貴光

池村 陵弥

池本 哲治

生駒 大

伊佐 治和

石井 昌二

石井 達一

石井 鉄也

石井 規男

石井 博裕

石井 豊

石井 礼助

石川 幸貴

石川 強司

石川 豊

石川 廉大

伊敷 芳英

石坂 圭典

石崎 恋之介

石塚 博之

石関 もも

石田 和良

石田 成樹

石田 拓巳

石田 稔人

石田 正人

石原 昌巳

石原 奈央

石原 久雄

石原 浩幸

石原 亜優

石橋 浩

石橋 敏和

居島 敏人

猪尻 俊佑

和泉 俊彦

儀 勝子

磯 聖裕

磯村 教仁

板倉 隆宏

板橋 克幸

伊丹 浩

市川 竜也

一条 浩平

一志 雄文

井手 藤一

伊藤 圭太

伊藤 圭太郎

伊藤 孝明

伊藤 孝志

伊藤 大治

伊藤 千華

伊藤 勉

伊藤 な

伊藤 正彦

伊藤 正観

伊藤 克剛

伊藤 達哉

稲垣 雄盛

稲崎 隆斗

稲葉 綜護

井波 翔太

井上 和一

井上 健司

井上 真幸







# FREQUENTLY USED TECHNIQUES

試合の主な有効技



正拳突き  
Fore-Fist Thrust



下突き  
Upper Cut



肘打ち  
Elbow Strike



片手での押し  
One Hand Push



両手での押し  
Both Hands Push



上段廻し蹴り  
Upper Roundhouse Kick



下段廻し蹴り  
Low Roundhouse Kick



前蹴り  
Front Kick



膝蹴り  
Knee Kick



横蹴り  
Side Kick



後ろ廻し蹴り  
Spinning Back Kick



踵落とし  
Axe Kick



胴廻し蹴り  
Roll Kick



捌き  
Fending Off



蹴り技・合わせ技による転倒から下段突き  
Downing an opponent by counter kick and lower thrust



足掛けによる転倒から下段突き  
Downing an opponent by combining foot sweep and lower thrust



足掛け・捌きの複合技による転倒から下段突き  
Downing an opponent by combining foot sweep & fending off, and lower thrust



上段への蹴りのクリーンヒットから残心  
Upper kick cleanly hit an opponent and Zanshin



相手の捨身技を察して下段突き  
Avoiding an opponent's techniques and lower thrust



倒された瞬間の下からの攻撃  
Attack from the floor immediately after being felled down

# FOUL TECHNIQUES

試合の主な反則技



手技による顔面への攻撃  
Strike To The Face



手技による首への攻撃  
Strike To The Neck



連続しての押し  
Multiple Pushing



掴み  
Grabbing



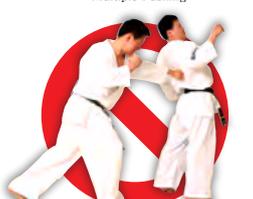
頭突き  
Head Butting



頭を付けての攻撃  
Pushing With Head And Attacking



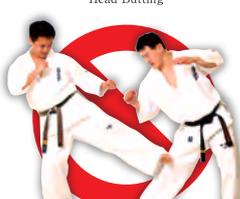
密着  
Touching the hands or chest-to-chest



背骨(脊柱)への直接攻撃  
Striking The Spine From Behind



金的への攻撃  
Kick To The Groin



正面からの膝関節への攻撃  
Attacking directly to the knee from front of it



倒れた相手への攻撃  
Attacking A Downed Opponent



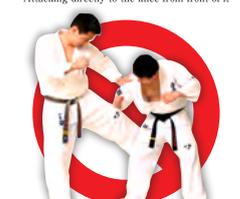
掛けての攻撃  
Hooking an opponent's neck or body part



抱え&抱え込み  
Holding an opponent's body parts such as leg



腕・脚を擱いての捻り・投げ  
Twisting or throwing an opponent's body parts such as leg and arm



上から抑えての攻撃  
Holding an opponent's body parts such as shoulder

## 副審の旗による動作 Action of the Corner Judges



一本勝ち 旗を真上にする  
Ippon / Full Point & Decision-Winner  
Flag straight up



技有り 旗を真横に  
Wazaari / Half point  
Flag straight to the side



認めず 旗を交差させて振る  
Mitomezu / No score  
Flags waving & crossing



見えず 旗を正面で交差  
Mizu / Did not see  
Flags crossed in front of the chest  
(Do not cover eyes)



反則 旗を上下に振る  
Hansoku / Foul  
Flag waving up & down



場外 旗で場外線を叩く  
Jogai / Out of bounds  
Flags tapping the ground



引き分け・中立 旗を交差させる  
Hikiwake / Decision-Draw  
Flags crossed

◎有効・反則技について  
写真で説明している「有効技」と「反則技」は、あくまでも主な例であり、ここにある技がすべてではありません。  
These techniques and fouls are only examples.

監修 / 磯部清次 (大会審判長)  
演武 / 伊藤 慎 (岐阜支部長)  
森善十朗 (東京城西大北沢・町田支部長)

【審判基準】

審判員および審判委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定はすべて審判員長の裁量による。組手時間の規定時間は1試合につき3分（予選は2分）、延長戦は2分とする。ただし、必要と認められた場合は審判長の裁量により、あらためて時間を設定することもありうる。

大会進行は極力予定スケジュールに沿わせるが、やむをえない事態が起きた場合は、審判員・副審判員が協議の上、審判員が変更を指示することができる。審判員は大会進行に関し、大会審議委員会の意見を求めることができる。

【組手と勝敗】

1. 組手は原則として1試合3分間（予選は2分）とする。延長戦は同じく2分間とする。  
2. 組手の勝者は、①一本勝ち、②技有り2本による合わせ一本勝ち、③判定勝ち、④相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち、により決定される。

【一本勝ち】

3. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を瞬間的に決め、ダメージを受けた相手選手を3秒以上ダウンさせるか、戦意を喪失させたときは一本勝ちとする。

【技有り】

4. 反則箇所を除く部分へ、突き・蹴り・肘打ち等を決め、ダメージを受けた相手選手が一時的にダウンもしくは戦意を喪失し、3秒以内に立ち上がったとき、または、倒れはしないがダメージのためバランスを崩したときは技有りとする。

5. クリーンヒットと残心：上段への蹴り（上段廻し蹴り、上段前蹴り、上段後ろ蹴り、上段後ろ廻し蹴り、上段膝蹴りなど）がクリーンヒットと、転倒やバランスを崩さなくとも、瞬間的に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止むめの気合いが伴う下段突きが決めれば技有りとする。

6. 中段への蹴り（中段前蹴り、中段後ろ蹴りなど）がクリーンヒットし、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止むめの気合いが伴う下段突きが決めれば技有りとする。

7. 自分の技（足掛け・足払い、相手の技にカウンターの下段蹴りなど）によって、相手を瞬時に転倒させ、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止むめの気合いが伴う下段突きが決めれば技有りとする。

8. 相手の捨身技（廻し回転蹴りなど）をかかわり、即座に胴体への当て止め、もしくは顔面に止むめの気合いが伴う下段突きが決めれば技有りとする。

9. 転倒した選手が、倒れた瞬間に防御及び反撃の為に即座に攻撃（下からの蹴り上げ、廻し蹴りなど）をすることは認められ、第3条また第4条の基準で技有りや一本勝ちも認められる。

10. 相手の有効技により負傷し、審判員の判断で治療が必要となった場合、相手選手に技有りが与えられた上で試合続行となる。

11. 技有りは、2つで一本勝ちとする。  
※転倒・攻防の中で相手の技によって瞬時に体を奪われ、お尻・背中が床についた場合。または足の裏以外の部位が床にまき、死に体（しにたい）となり直ちに攻防が続けられない状態になった場合。

※当て止め：ライトコンタクトによる明確な突き。ダメージを与えるフルコンタクトは反則。

※蹴りのクリーンヒット：ダメージのある技有り（第4条）にまでは至らしないが、ある程度の威力・インパクトを伴う蹴り。

【判定】

12. 一本勝ちで決まらない場合は判定で決定する。

13. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持を有効とする。

14. 判定基準は両選手の試合の流れを把握し、以下の基準を元に判定を下す。

①ダメージ：どちらがより相手にダメージを与えたか。  
②有効打・防御技術：どちらがより有効な技を相手に当てたか。どちらが防御技術を用いて相手の攻撃を防ぎ、自分の攻撃に結びつけていたか。ダメージが無いとしても相手の技に反応せず不用意に受けるのは、試合判定のマイナス要因となる。

③積極性・試合態度：どちらが正確な技で積極的に攻め主導権を握っていたか。どちらが武道精神に則り相手を尊重して正々堂々とした試合態度であったか。

15. 減点1を与えられた選手が「技有り」を取った場合、判定に於いて「減点1」と「技有り」は相殺され、それ以外の内容で判定される。減点1=技有り

16. 相手選手の反則負け、失格、棄権による勝ち。

【延長戦】

17. 判定は主審1名、副審4名のうち、3名以上の支持がない場合は、引き分けとし、延長戦を行う。

【体重・試合判定】

18. 延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合は、体重差と試合枚数が勝者を決する。体重差が10kgを越える場合は試合枚数の多い選手を勝者とする。体重差が10kgを越えず試合枚数が同数の場合は、再度延長戦を行う。体重差が10kg以上有り、試合枚数が同数、または軽い選手が多く割っている場合、軽い選手を勝者とする。体重差が10kg以上有り、重い選手が多く割っている場合は、再度延長戦を行うて決める。

【反則】

19. 次の場合は、反則とする。  
①顔面殴打：手、肘による顔面および首への攻撃。手先が触れても反則となる場合がある。ただし、手で顔面を牽制することはかまわない。  
②金的への攻撃。  
③頭突きによる攻撃。  
④倒れた相手への直接攻撃。第6条、第7条、第8条の場合を除く。  
⑤背骨への攻撃：背骨（脊柱）への直接攻撃。  
⑥掛け：相手選手的首から上、及び胴体へ手掛けした場。  
⑦掴み：相手選手の道着、手足を掴んだ場合。ただし、相手選手の足払い（足掛け下段突き、中段蹴り）を捌いての足払いなど）に対する防御のために道着を掴むことは反則とせず、口頭での指導にとどめる。（これらのケースは両者が掴んでいる場合が多く、特に掴みの反則を狙って仕掛ける相手の足払いに対する自衛的掴みについては反則を取らない）

⑧抱え込み：相手選手の手や身体を抱えた場合。ただし、相手選手の手を捌いての足払いなど）に対する防御のために相手選手を抱えることは反則とせず、口頭での指導にとどめる。その際に首から上を抱え込むことは反則。また、双方共に相手選手を抱えたまま床に叩きつけてはならない。  
⑨投げ：相手選手を投げた場合。  
⑩顔面、首への押し：首から上への押し。  
⑪連続しての押し：相手選手を連続して押した場。  
⑫押え：相手選手を抑えた場合。  
⑬密着：腕や胸を合わせて密着した場。  
⑭膠着：腕を合わせて、技術的な展開が3～5秒見られない膠着状態を繰り返した場。  
⑮消極性：明らかに消極的な態度で試合をした場。  
⑯掛け逃げ：技の掛け逃げを再三繰り返した場。  
⑰場外：自分から場外へ両足が出た場合、及び戦意をなくして場外に出た場合は反則（注意1）とする。但し、攻防中に場外に出た場合は反則を取らない。  
⑱主審の「止め」が掛かった後の攻撃。  
⑲不十分な礼：正しく礼をしない場。  
⑳着衣の乱れ：着衣が著しく乱れたまま試合を続けた場。帯がほどけて床に落ちた場。  
㉑審判がとくに反則とみなした場。  
㉒偽装：以下の場合、武道精神に悖る（もてる）行為として、注意・減点となる場合がある。  
・相手の反則を装った場合（例：顔面殴打や金的への攻撃を受けたと装う）  
・負傷を誇張した場  
・自ら顔面殴打や金的攻撃などを誘発した場  
※押し：瞬間的な車発の押しを認める。  
※捌き：腕・足への瞬間的な捌きを認める。ただし、捻り・投げは反則。  
※押し・捌き・足掛けの複合技：押し・捌き・足掛けを同時に使うことが認められる。

20. 反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。  
※反則により相手選手が負傷し、直ちに試合続行が不可能で回復時間が必要となり、審判員がその反則が重大なものとして判断した場合は、反則をした選手に2つ分の注意が与えられる。

【減点】

21. 次の場合は1度目でも減点1となる場合がある。  
①悪質な反則を行った場。  
②審判の判断により、悪質な試合態度とみなされた場。

【反則負け】

22. 次の場合は、反則負けとする。  
①減点2となった場。減点2=反則負け  
②反則により相手選手が負傷し、大

会医師が試合続行不可能と判断し、審判員が認めた場。  
【失格】

23. 次の場合は失格となり、審判員の判断で順位が剥奪される場合がある。  
①試合中、審判員の指示に従わない場。  
②粗暴な振る舞い、とくに悪質な反則、とくに悪質な試合態度とみなされた場。  
③出場申し込み時に申告した体重と当日の体重に10kg以上の相違があった場。  
④出場時刻に遅れたり、出場しない

場。  
⑤主催者が定めた服装、防具の規定に反している場。

【試合放棄】

24. 正当な理由なくして試合を放棄したときは、弁償金を支払わなければならない。ただし、下記の場合は例外とする。  
①大会医師または医事委員の診察を受け、試合続行不可能となった場。  
②大会直前または大会中に、本人に関係する不慮の事故（家族の不幸など）が発生し、審判員が協議の上、退場を許可した場。

国際空手道連盟・試合規定

- ① 試合の材料は、33cm×21cm、厚さ24cm（13インチ×8インチ、09インチ）の杉板を使用する。材質は国際空手道連盟の規格に合致したもので、審判員、審議員の検査を通ったものとする。
- ② 割った枚数によって点数を競うが同枚数の場合は、体重の軽い選手を優位とする。その際の有効体重差は原則として10kgとする。
- ③ 選手は、正拳・足刀・猿臂・手刀の4種類の技で試合を行い、その合計点を得点とする。
- ④ 選手は、試合の枚数について、規定枚数（3枚）以上であれば何枚でも指定できる。
- ⑤ 指定した枚数が1回の試技で完全に割れない場合は「失敗」とし、得点にならない。
- ⑥ 「失敗」した場合は、再度試みるこ

とができるが、この場合は規定枚数の3枚とする。  
⑦ 再度試みた試合に失敗した場合は、得点を0とする。  
⑧ 試合は、固定したブロックを台として所定の位置で行う。ブロックの台は、審判員・審議員の許可がない限り動かすことはできない。  
⑨ 選手は試合に当たって、ブロックの台、板にはいささか触れてはならない。ただし、間合いを計ること、板の上に審判員、審議員の検査を受けた薄い布（手拭、タオル等）を敷くことはできる。  
⑩ 試合は、審判員の指示で行う。制限時間は2分とし、それを超えると失敗とみなす。

本大会 試合規定

本大会においては、次の規定を適用する。

1. 階級は、男子は軽量級（-60kg）、軽量級（-70kg）、中量級（-80kg）、重量級（-90kg）、重量級（+90kg）、女子は軽量級（-55kg）、中量級（-65kg）、重量級（+65kg）とする。
2. 規定体重を超えている場合、あるいは満たない場合は失格となり、試合に出場できない。
3. 体重判定の有効差は3kg以上とする。
4. 下位階級の場合、本戦2分間、延長

戦2分間とし、延長戦で判定がつかない場合は体重判定、体重で判定がつかない場合は再延長戦を行って決める。  
5. 上位階級（男子準々決勝以降／女子準決勝以降）の場合、本戦3分間、延長戦2分間とし、延長戦を2回繰り返しても判定がつかない場合は、①試合枚数、②体重判定、③再々延長戦の順で勝敗を決める。

本大会 試合規定

- 男子準々決勝以降、女子準決勝以降の試合において再延長で決着がつかない場合は両選手は直ちに試合を行い勝敗を決する。  
・選手は任意の枚数（男子3枚以上／女子2枚以上）を申告することが出来る。  
・制限時間内（2分以内）に枚数を決め設置を完了させる。  
・挑戦する枚数にかかわらず、その中で1枚でも割れない板があった場合は「失敗」となり、記録は0枚となる。

・4種目を終えても両者同数の場合、体重判定（有効差3kg）、それでも決着がつかなかった場合は再々延長戦を行い勝敗を決める。  
・試合順  
男子準々決勝／女子準決勝  
①手刀 ②猿臂 ③足刀 ④正拳  
男子準決勝／女子3位決定戦・決勝  
①猿臂 ②足刀 ③正拳 ④手刀  
男子3位決定戦・決勝  
①足刀 ②正拳 ③手刀 ④猿臂

大会における肖像権について

1. 国際空手道連盟 極真会館（主催者）は、本大会の模様を動画撮影、写真撮影、録音等の方法により記録し、公開するほか、主催者及び主催者の指定する第三者により各種媒体（テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等）において公開、利用することがある。また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。
2. 参加者は本大会申し込みにより、氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が記録、公開及び第三者により各種媒体（テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等）において公開、利用することがある。また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。

2. 参加者は本大会申し込みにより、氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が記録、公開及び第三者により各種媒体（テレビ、ラジオ、インターネット、新聞、雑誌、DVD等）において公開、利用することがある。また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。また、収録、公開される情報には、参加者の氏名、経歴、プロフィール、映像、写真、音声及び肖像が含まれる可能性がある。

I.K.O.極真ルール 審判動作基準

組手の部

【試合開始】

1. 両選手を進行係が呼ぶ。（このとき対戦者はお互いに反対の位置より試合場に登る）

2. 中央の線を境に一定の間合い3mをとり中央に主審が立つ。両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、主審の「はじめ」の合図で試合を開始する。

3. 試合続行中、着衣が乱れた場合、主審は試合を止め開始線に戻し、お互いに背を向けて服装を直させる。  
【試合中】

1. 試合中、一本勝ち、技有り、反則、場外などの場合、副審は笛の合図とともにそれぞれ旗によって示す。主審は「やめ」の指示で両選手を分け、元の位置に戻す。

2. 旗の振り方は、以下の通りとする。

①一本勝ち／勝った選手の方の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。  
②技有り／技有りを取った選手側の旗を真横に上げる。大きく短く笛を吹く。

③反則／反則をした選手側の旗を振る。旗の動きに合わせて短く笛を吹く。

④場外／その側の旗で床を叩き、その後場外に出た選手側の旗をそれぞれに振り、笛を吹く。旗の動きに合わせて短く笛を吹く。

⑤認めず／2本の旗を交差させて振る。旗に合わせ長めに笛を吹く。

⑥見えず／2本の旗を正面で交差させる。笛は吹かない。

⑦判定の際：引分け・中立／2本の旗を前を交差させる。大きく笛を吹く。赤の勝利／赤の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。

⑧白の勝利／白の旗を真上に上げる。大きく笛を吹く。

3. 一本勝ち、技有り、反則の場合、主審は副審の判断を求め主審を含め3名以上の判断を有効として、それぞれ宣告する。

【一本勝ち】

1. 試合規則第3条の一本勝ちの技が決まった場合、主審は両選手の間に入って分け、試合を止め元の位置に戻す。

2. 主審を含め3名以上の支持を有効とし、一本勝ちを宣言する。

【判定勝ち（優勢勝ち）】

1. 一本勝ち、反則負け、失格がない場合、試合終了の合図によって、主審は「止め」と指示し両選手を分け、元の位置に戻す。

2. 主審は両選手を正面に向かせ、「判定」と指示して副審の判断を求め、副審は判定基準に則り勝ちと判断した選手側の旗を真上に上げる。引分けと判断した場合は、2本の旗を前を交差させる。主審を

含め3名以上の支持を有効とし、3名以上の支持がない場合は引分けとする。

【反則】

1. 反則があった場合は、主審が両選手の間に入って試合を止めさせる。

2. 反則の認定には原則として主審を含め3名以上の支持を有効とする。

3. 反則には、悪質な場合を除き1度目で「注意1」、2度目が「注意2」、3度目が「減点1」となり、4度目が「減点2」で反則負けとなる。

4. 反則技については、試合規則「反則負け」（第19条）を参照。

【反則負け】

1. 減点2または試合規則「反則負け」に該当する場合は、主審は該当する選手に反則負け（手刀を斜めに指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。

2. 反則負けの基準は、試合規則「反則負け」（第22条）を参照。

【失格】

1. 試合規則「失格」に該当する場合は、主審は該当する選手に失格（手刀を斜めに指し示す）を宣言すると共に、逆側の選手の勝ちを宣言する。

2. 失格の基準は、試合規則「失格」（第23条）を参照。

【試合終了】

1. 一本勝ち、反則負け、失格の場合、主審はただちに組手を止め、両選手を向かい合わせたまま勝ちを宣告し、両選手に正面に礼、互いに礼を指示し、握手をさせ、退場させる。

2. 一本勝ち、反則負け、失格がない場合は、試合終了の合図とともにただちに組手を止め、両選手を正面に向かせ副審の判断を求め、勝者を決定した上同様にする。

# ～ 極真会館へ入門をしたら～

## 会員登録

- ◆道場生は入門手続きと同時に、極真会館基幹システムIKOポータルに必要事項を入力し極真会館総本部に登録を行なうと同時に年会費の決済を行なっていただきます。
- ◆会員登録の詳細についてはIKOポータル確認画面(会員登録に関する重要事項)を確認し同意して頂くことになります。
- ◆会員登録は基本的には、入門時に道場で入力して頂きます。
- ◆登録完了後は、会員マイページにログインすることで登録状況の確認・変更が行なえます。
- ◆登録完了の時点で稽古に出席ができます。



※会員登録は極真会館の道場生全員が行なうことになっています。昇級審査の受審や試合出場の直前に行なうものではなく、入門と同時に頂いて頂くものです。

## 既存の会員の方へ

### IKOポータルへの登録切替 (切り替えることで何がかわるか?)

現在の登録されている情報をIKOポータルへの登録切替することで

- ◆各種情報の変更の届け出が会員ご本人のパソコンなどで行なえるようになりました。
- ◆お手持ちのクレジットカードで年会費・メディカルサポート加入費のお支払いが可能となりました(クレジットカードの発行申込が必要ありません)。
- ◆会員マイページへログインすることで登録状況の確認が可能となりました。

<https://www.memberregistration.net/user-auths/login>



## IKOポータルへ切り替えていない会員の方

～こんな時は、必ずお知らせください～



### こんな時【その1】 引越しをしたら…

住所変更届の要領に従って必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。



### こんな時【その4】 退会しようと思ったら…

- ◎退会希望の場合は、年会費引き落としの40日前までに、ご本人・決済者が会員管理部に必ず電話連絡のうえ、総本部発行の会員証を所属支部へ返却していただくか、会員管理部へご返送ください。
- ◎確認のため、生年月日、住所などを必ずおたずねすることがございます。相違する場合はお受けできない可能性もあります。
- ◎退会の際は、必ず所属支部にも連絡してください。年会費の停止などは、会員管理部では行っておりません。
- ◎引き落としの前には請求書・振替の案内をお送りしますが、その確認後に退会連絡をいただいても、「年会費は翌年」、「年会費は翌月」からの引き落とし中止となります。
- ◎退会届の受付後、取り消しは原則的に行なえません。退会後の入門には、再度、入門料・年会費が必要となりますので、よくご検討のうえ、ご連絡をお願いいたします。
- ◎会員本人または会費決済者が諸手続きを行なわなかった場合、納入された年会費・年会費の返金は一切行ないません。翌年・翌月からの引き落とし中止となります。
- ◎退会希望の届けがない限り、毎年一回カード決済または口座振替により年会費は引き落としされ、登録は継続されます。本会より退会確認の連絡は行ないませんので、あらかじめご了承ください。

### こんな時【その2】 口座を変更したら…

会員管理部へご連絡ください。



### こんな時【その3】 会員カードを なくしたら…

会員管理部へご連絡ください。



### こんな時【その他】

- 道場の休会 ●他支部への移籍 ●合宿・昇級審査など
- ご不明な点は、各所属支部道場におたずねください。

## 住所変更届

※会員登録に関する変更届は、下記の要領にしたがって(または、コピーして)必要事項を記入のうえ、FAXまたは郵送にて会員管理部までお送りください。※所属支部へも住所変更を行なってください。※楽天KCカード(オフィシャルメンバーズカード)会員の方は、楽天KC株式会社(TEL0570-01-5971)へも届けが必要です。

会員番号		フリガナ氏名	
支部名			
◎新住所			
フリガナ			
〒	※アパート等にお住まいの方は建物の名称・号室まで記入ください。		
TEL.			

## 黒帯カード申請書

黒帯カード申請 / 写真の変更 / 会員証の再発行(事前にご連絡をお願いいたします)



【黒帯カードへの切替について】黒帯カードへの切替を希望される方は、申請書に必要事項を記入し、カード再発行料2,200円(うち税200円)と現在お持ちの会員証(バーコード入り)を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。同時に写真も同封してください。

【写真変更について】現在お持ちの会員証の写真を変更希望の場合は、変更する写真(パスポートサイズ)・会員番号・氏名を記入したメモ・現在の会員証(バーコード入り)・再発行料2,200円(うち税200円)を現金書留に同封して、下記住所までお送りください。※書留確認後、1ヵ月程度お待ちいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

会員番号		フリガナ氏名	
支部名			
昇段年月日	年 月 日	昇段No.	現在の段 段

お知らせに関するお問い合わせ

国際空手道連盟極真会館「会員管理部」

TEL.03-6452-5666

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1 FAX.03-6452-5667

受付時間/平日の午前10時～午後5時30分(土日祝祭日は除く)



 **国際空手道連盟  
極真会館 総本部**

**館長/松井章奎** 師範/福田 勇、八巻建志、杉村多一郎、  
ホヴァニシアン・アルトゥール、赤石 誠  
指導員/入澤 群、貝沼慶多、コパレンコ・コンスタンティン、  
谷川蒼哉、日比野丈二、本間唯志

〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-38-1 | TEL.03-5992-9200 FAX.03-5992-9600

**大山総裁の遺志を受け継いで、  
松井章奎館長が指導。**

総本部道場は極真空手の原点であり、同時に直接打撃制カラテの原点とも言えます。全国の支部と道場、全世界に大きく展開する国際空手道連盟の中心です。

総本部道場は、強さと精神的向上を求める道場生の活気あふれた極真空手の殿堂であり、故・大山倍達総裁の遺志を受け継いだ松井章奎館長のもと、一般部(13歳~34歳)、壮年部(35歳以上)、女子部、少年部(満4歳~12歳)があり、随時入門・体験・見学ができます。

極真会館ホームページ <http://www.kyokushinkaikan.org/>

■おもな管轄道場

総本部代官山道場 ◎責任者:赤石 誠  
〒150-0033  
東京都渋谷区猿樂町3-7 代官山木下ビル 4階  
TEL.03-3780-5553

総本部川口道場 ◎責任者:ホヴァニシアン・アルトゥール  
〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-2-26  
ライオンズマンション3F TEL.048-255-8988

総本部所沢道場 ◎責任者:入澤 群  
〒359-1126 埼玉県所沢市西住吉10-13  
カワモク所沢ビル3F TEL.042-922-3331

総本部札幌道場  
〒062-0921 北海道札幌市豊平区中の島一条1-7-20  
Forged bldg 4F TEL.011-816-3939

総本部岩手道場 ◎責任者:松村典雄  
〒020-0137 岩手県盛岡市天昌寺町4-58  
TEL.019-647-3351

総本部沖縄道場  
〒902-0077 沖縄県那覇市長田1-13-65  
那覇市寄宮中学校武道場 TEL.098-943-5478



<p><b>青森支部</b></p> <p>空手の道は人の道</p> <p>支部長 <b>石川博崇</b></p> <p>〒036-8141 青森県弘前市松原東1丁目3-2 2F TEL.090-3361-6007</p>	<p><b>北海道函館支部</b></p> <p>奮励努力</p> <p>支部長 <b>横山 誠</b></p> <p>〒041-0841 北海道函館市日吉町3-10-3 TEL.0138-54-8199</p>	<p><b>北海道胆振支部</b></p> <p>初志貫徹</p> <p>支部長 <b>澤田乃基</b></p> <p>〒051-0004 北海道室蘭市母恋北町1-5-11 (学)北斗文化学園内 TEL.090-3393-5808</p>
<p><b>北海道札幌東支部</b></p> <p>創意工夫、道をひらけ!!</p> <p>支部長 <b>塚原典寿</b></p> <p>〒001-0018 北海道札幌市北区北十八条西4丁目2-17 501号 TEL.080-3497-3595</p>	<p><b>秋田支部</b></p> <p>義理人情</p> <p>支部長 <b>伊藤和摩</b></p> <p>〒010-0963 秋田県秋田市八橋大沼町3-14 TEL.018-866-1855</p>	<p><b>山形支部・福島地区・宮城仙台道場</b></p> <p>勇気と望みと感謝の心</p> <p>支部長 <b>吉田浩一</b></p> <p>〒960-0201 福島県福島市飯坂町字十綱下12-4-505 TEL.024-563-3987</p>
<p><b>郷田道場</b></p> <p>集え!! 限界へのチャレンジャー</p> <p>最高顧問 師範 <b>郷田勇三</b></p> <p>〒114-0014 東京都北区田端5-14-2 富士見マンションB1F TEL.03-3823-8954</p>	<p><b>東京城西支部</b></p> <p>めざせ!! 極真の星を!</p> <p>総本部長/関東本部 本部長 支部長 <b>山田雅稔</b></p> <p>〒161-0034 東京都新宿区上落合3-23-17 ユニール落合1F TEL.03-3363-8430</p>	<p><b>栃木北支部</b></p> <p>質実剛健</p> <p>支部長 <b>荒玉康夫</b></p> <p>〒324-0057 栃木県大田原市住吉町1-15-23 戸辺ビル2F・3F TEL.0287-23-7090</p>
<p><b>栃木南支部</b></p> <p>継続は力なり</p> <p>支部長 <b>板橋清隆</b></p> <p>〒320-0846 栃木県宇都宮市滝の原1-2-34 滝の原ビル2F TEL.028-637-8997</p>	<p><b>群馬東支部</b></p> <p>不撓不屈</p> <p>支部長 <b>小林 節</b></p> <p>〒371-0804 群馬県前橋市六供町326 TEL.027-289-2158</p>	<p><b>群馬西支部</b></p> <p>生涯修行</p> <p>支部長 <b>細野由人</b></p> <p>〒375-0015 群馬県藤岡市中栗須289-1 TEL.0274-24-2858</p>
<p><b>茨城支部・埼玉北支部</b></p> <p>求道万日</p> <p>支部長 <b>鴨志田裕寿</b></p> <p>&lt;茨城&gt; 〒305-0821 茨城県つくば市春日3-1-7 セブールビル3F TEL.029-851-1993 &lt;埼玉北&gt; 〒347-0033 埼玉県加須市下高柳1635-1 TEL.0280-31-6510</p>	<p><b>茨城中央支部</b></p> <p>闘志全開</p> <p>支部長 <b>安島喬平</b></p> <p>&lt;水戸&gt; 〒310-0825 茨城県水戸市吉沢町162-2 TEL.090-6177-81366 &lt;牛久&gt; 〒300-1203 茨城県牛久市栄町5-57-2 TEL.0292-91-3592</p>	<p><b>埼玉東支部</b></p> <p>心・技・体</p> <p>支部長 <b>毛塚慎一</b></p> <p>〒339-0073 埼玉県さいたま市岩槻区上野59-2 TEL.090-2247-7150</p>
<p><b>埼玉西北支部</b></p> <p>努力は必ず報われる</p> <p>支部長 <b>村田達也</b></p> <p>〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山2-11-16 ニュー狭山マンション1階 TEL.042-955-8557</p>	<p><b>埼玉南支部</b></p> <p>尊敬・忍耐・感謝</p> <p>支部長 <b>鈴木雄三</b></p> <p>〒353-0004 埼玉県志木市本町5-18-8 サンロード志木2F TEL.048-487-7444</p>	<p><b>埼玉中央支部</b></p> <p>やればできる!めざせ夢!</p> <p>支部長 <b>ホスロ・ヤグビ</b></p> <p>&lt;大宮&gt; 〒330-0851 埼玉県さいたま市大宮区榑引町1-322 リファレンス大宮1F・A TEL.048-653-9172 &lt;宮原&gt; 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町3-477-1 TEL.048-653-9172</p>
<p><b>埼玉北越谷支部</b></p> <p>極真精神!己を超えろ!</p> <p>支部長 <b>堀井 浩</b></p> <p>〒343-0026 埼玉県越谷市北越谷2-17-5-2F TEL.048-979-8408</p>	<p><b>千葉北支部</b></p> <p>極真の覇者王道を歩め!</p> <p>支部長 <b>柿沼英明</b></p> <p>〒273-0005 千葉県船橋市本町6-3-20 ベルヴイル2F TEL.047-422-4128</p>	<p><b>千葉南支部</b></p> <p>地域・社会に貢献する道場を目指す</p> <p>支部長 <b>石田伸太</b></p> <p>〒290-0074 千葉県市原市東国分寺台3-10-20 TEL.0436-24-3212</p>
<p><b>千葉中央支部</b></p> <p>心・技・体</p> <p>支部長 <b>竹石 修</b></p> <p>〒264-0024 千葉県千葉市若葉区高品町427-6 TEL.043-235-3870</p>	<p><b>千葉下総支部</b></p> <p>心を込めて、真に生きる</p> <p>支部長 <b>塩島 修</b></p> <p>〒343-0042 埼玉県越谷市千間台東1-2-1 TEL.048-971-4553</p>	<p><b>千葉東葛支部</b></p> <p>空手道の探求、普遍性の追求</p> <p>支部長 <b>福井裕樹</b></p> <p>&lt;柏&gt; 〒277-0852 千葉県柏市旭町1-1-16 中崎ビル2F TEL.04-7147-9008 &lt;松戸&gt; 〒271-0091 千葉県松戸市本町19-2 河内ビル2F TEL.047-369-4655</p>

### 千葉海浜支部



胆大心小

支部長 荒田昇毅

〒266-0032  
千葉県千葉市緑区おゆみ野中央2-13-14  
B棟スタジオM&M  
TEL.090-1999-1802

### 本部直轄 四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場



極真の道を全うすること

支部長 杉村多一郎

<四谷>〒160-0004 東京都新宿区四谷3-11  
山一ビルB1F TEL.03-3357-8555  
<飯田橋>〒102-0072 東京都千代田区飯田橋  
4-5-3F TEL.03-3221-0753  
<東松山>〒353-0016 埼玉県東松山市村木町  
22-11 ヲナビル2F TEL.0483-25-3127  
<秩父>〒365-0005 埼玉県秩父市大字大野原  
186-4 TEL.0483-25-3127  
<熊谷>〒360-0037 埼玉県熊谷市英波2-13  
加賀崎ビル1F TEL.048-524-1104

### 東京城東北千住支部



随所に主たれば、立つ処皆真なり

支部長 佐々木敏也

〒120-0034  
東京都足立区千住3-1  
トンプク堂ビル3F  
TEL.03-5244-0201

### 東京城東小岩支部・千葉北西支部



心を磨き己を極める

支部長 足立慎史

<小岩>〒133-0057  
東京都江戸川区西小岩1-30-8 第二中正ビル2F  
TEL.03-3658-9077  
<行徳>〒272-0133  
千葉県市川市行徳駅前2-18-3 リムール堀本2F  
TEL.047-356-0403

### 東京城東葛西支部



質実剛健

支部長 木立裕之

〒134-0084  
東京都江戸川区東葛西5-1-14  
第7片田ビル2F  
TEL.03-6456-0178

### 東京城東湾岸支部



人生一度!主役は自分!

支部長 鎌田翔平

<築地>〒104-0043 東京都中央区湊2-12-11 2F  
<月島>〒104-0052 東京都中央区月島 4-6-12  
スタジオワンス内 TEL.080-7273-2999

### 東京城南大崎支部



求道無限

支部長 鈴木由一

〒140-0002  
東京都品川区東品川3-25-1  
牧田ビル2F  
TEL.03-3458-0058

### 東京城南京浜支部



己に克つ

支部長 菅野秀行

〒143-0016  
東京都大田区大森北1-11-3  
サカエビル4F A  
TEL.03-5471-0603

### 東京城南池上支部



覇気を失う事は自分を失う事

支部長 御子柴直司

〒142-0042  
東京都品川区豊町1-6-11  
プレジールBI  
TEL.03-4570-0500

### 東京城南目黒中央支部



我以外皆師也

支部長 池田祥規

〒153-0065  
東京都目黒区中町2-38-27  
鈴木第2ビル2F  
TEL.03-5704-1078

### 東京城北支部



一所懸命

支部長 川本英児

〒179-0082  
東京都練馬区錦1-34-15  
カーサ錦1F  
TEL.03-5399-3134

### 東京城西国分寺支部



継続は力なり

支部長 江口芳治

〒185-0012  
東京都国分寺市本町3-11-1  
第8千代鶴ビル5F  
TEL.042-322-8691

### 東京城西世田谷東支部



一生懸命

支部長 田口恭一

〒154-0011  
東京都世田谷区上馬1-32-10  
ハイツ三軒茶屋1F  
TEL.03-3422-6653

### 東京城西野方支部



規律・情熱・イズム

支部長 根本清志

〒165-0027  
東京都中野区野方4-25-9  
TEL.03-3388-6722

### 東京城西下北沢・町田支部



感謝

支部長 森善十朗

<下北沢> 〒155-0033 東京都世田谷区代田5-11-11  
シティ代田3F  
<町田> 〒194-0021 東京都町田市町中町3-6-27-1階B  
TEL.080-6359-0775

### 神奈川県横浜港南支部



正々堂々

支部長 羽田シゲル

〒231-0057  
神奈川県横浜市中区曙町5-68  
永田ビル2F  
TEL.045-243-1875

### 神奈川県横浜北支部



弱きは即ち此れ強き、強きは克己なり

支部長 今西登之彦

〒222-0032  
神奈川県横浜市長北区大豆戸町639-2  
TEL.045-435-1800

### 神奈川県横浜東支部



翔ぬける極真の風になれ

支部長 青木英憲

〒241-0024  
神奈川県横浜市長区本村町27-16  
TEL.045-560-0187

### 神奈川県川崎中央支部



自分に強く

支部長 進裕治

〒213-0011  
神奈川県川崎市高津区久本3-2-18  
エムビル1階2号室  
TEL.044-822-0021

### 神奈川県相模原支部



志ここに-AMBITIOUS-

支部長 戸田直志

〒252-0243  
神奈川県相模原市中央区上溝6-10-3 1F  
TEL.042-761-1377

### 神奈川県西湘支部



継続は力なり

支部長 福田達也

〒250-0011  
神奈川県小田原市栄町3-10-31  
栄町マンション2F  
TEL.0465-24-9191

### 神奈川県大和支部



一意専心!

支部長 竹岡拓哉

<長後> 〒252-0016 神奈川県藤沢市長後668-1  
サザン長後ビル203  
<大和> 〒242-0016 神奈川県大和市大和南1-8-1  
シリウス内3F マルチスペース  
TEL.080-9192-3739

### 神奈川県川崎南支部



一芸は道に通ずる

支部長 加賀健弘

〒212-0022  
神奈川県川崎市幸区神明町1-13-1 2F  
TEL.080-1181-1622

### 神奈川県横浜西北支部



不屈の精神

支部長 石崎恋之介

<事務局> 〒161-0034  
東京都新宿区上落合3-23-17  
ユニール落合1階 東京城西支部気付  
TEL.080-1064-1015

### 総本部横須賀道場



和を以て貴しと為す

支部長 **日比野丈二**

〈沙入〉〒238-0042  
神奈川県横須賀市沙入町2-32 H.L.沙入駅前ビル3F  
〈久里浜〉〒239-0831  
神奈川県横須賀市久里浜4-3-6 鳥伝第1ビル3F  
TEL.090-8342-5090

### 山梨支部



千練万鍛極真の道

支部長 **小坂武史**

〒405-0003  
山梨県山梨市下井尻526-1  
TEL.0553-33-9761

### 新潟中央支部



魅する私たちの軌跡

支部長 **西村淳平**

〒950-2015  
新潟県新潟市西区西小針台1-4-21  
TEL.025-368-9500

### 富山支部



極真精神

中部本部 本部長

支部長 **浜井良顕**

〒930-0847  
富山県富山市曙町6-40  
TEL.076-433-6678

### 長野支部



文武両道

支部長 **平尾敏也**

〒381-0033  
長野県長野市南高田2-3-20  
TEL.026-477-2696

### 石川支部

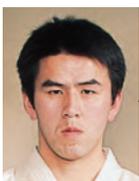


克己

支部長 **古城忠**

〒924-0047  
石川県白山市西美沢野町2番地1  
TEL.076-274-7107

### 福井支部



人間の挑戦する意欲に限界はない

支部長 **宮脇英彰**

〒915-0834  
福井県越前市北千福町109-3  
TEL.0778-21-2380

### 静岡西遠支部・愛知東三河支部



天は自ら助くる者を助く!!

支部長 **石黒康之**

〈西遠〉〒432-8038 静岡県浜松市中央区  
西伊場町56-14・2F  
TEL.053-482-9937  
〈東三河〉〒441-8141 愛知県豊橋市草間町字東山143-6  
TEL.0533-69-6231

### 静岡富士支部



継続は力なり

支部長 **前川克信**

〒419-0205  
静岡県富士市天間954-59  
TEL.0545-71-8666

### 静岡中央支部



千鍛万錬

支部長 **初川正彦**

〒420-0915  
静岡県静岡市葵区南瀬町3-14-2F  
TEL.054-247-1501

### 愛知東南支部



生きる、しあわせ心豊かに!

支部長 **堀田裕晴**

〒475-0917  
愛知県半田市清城町3-4-10-101  
TEL.0569-26-2539

### 愛知名古屋支部



継続は力なり

支部長 **木山仁**

〒464-0827  
愛知県名古屋市中千種区田代本通1-28  
クレン清友1F  
TEL.052-762-5119

### 岐阜支部



意志あるところに道は開ける

支部長 **伊藤慎**

〒500-8333  
岐阜県岐阜市此花町5-2  
フジタビル  
TEL.058-254-1833

### 京都支部



強く、優しく

関西本部 本部長

支部長 **川畑幸一**

〒604-8437  
京都市中京区西ノ京東中合町5-6  
パレット御池2F  
TEL.075-801-8155

### 奈良支部

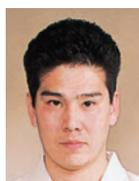


精鋭無比

支部長 **秦貴典**

〒634-0835  
奈良県橿原市東坊城町123-16  
TEL.0744-28-2064

### 北大阪支部



努力精進

支部長 **橋爪秀彦**

〒564-0053  
大阪府吹田市江の木町20-25  
TEL.06-6170-2233

### 大阪西支部



信は力なり

支部長 **岡田祐樹**

〒552-0001  
大阪府大阪市港区波除2-5-5  
菊川マンション 1F  
TEL.06-6584-3111

### 大阪東南支部



やれば出来る! 勇気と挑戦!!

支部長 **田中隆昌**

〒599-8234  
大阪府堺市土塔町3333-1  
TEL.072-239-2520

### 大阪なみはや支部



拳禅一如

支部長 **田ヶ原正文**

〒558-0004  
大阪府大阪市住吉区長居東4-1-12  
パークサイド南栄ビル2F  
TEL.06-6695-1768

### 大阪東支部



信頼と感謝

支部長 **東博昭**

〈貝塚〉〒597-0081 大阪府貝塚市麻生中814-2  
TEL.072-427-9906  
〈枚方〉〒573-0131 大阪府枚方市春田野2-13-1  
TEL.072-427-9906

### 大阪南支部



健やかな強さ

支部長 **徳田忠邦**

〒593-8311  
大阪府堺市西区上441-1  
TEL.072-264-8804

### 大阪布施支部



極真の道を全うすること

支部長 **田中正信**

〒577-0843  
大阪府東大阪市荒川2-18-12  
ビルドジャパン布施1F  
TEL.090-9160-7606

### 兵庫西支部



先へ先へ、さらなる先へ

支部長 **山野博久**

〒656-0025  
兵庫県洲本市本町5-3-4  
本町コモード2F  
TEL.090-8932-2149

### 和歌山支部



押忍

支部長 **北本久也**

〒640-0112  
和歌山県和歌山市西庄1037-53  
TEL.090-8570-0458

<p><b>中国本部</b></p> <p>長州男児 極真魂に徹す</p>  <p>本部長 <b>河岡博實</b></p> <p>〒755-0091 山口県宇部市上宇部2532-11 TEL.0836-33-1527</p>	<p><b>山口支部</b></p> <p>志を立てて万事の源となす</p>  <p>支部長 <b>河岡晶俊</b></p> <p>〒755-0091 山口県宇部市上宇部2532-11 TEL.0836-33-1527</p>	<p><b>広島支部</b></p> <p>真を極める</p>  <p>支部長 <b>小田勝幸</b></p> <p>〒731-0143 広島県広島市安佐南区長楽寺1-3-7 キシカワビル TEL.082-209-3040</p>			
<p><b>岡山東支部</b></p> <p>大いなる野心</p>  <p>支部長 <b>中塚信夫</b></p> <p>〒700-0964 岡山県岡山市北区中仙道55-124 サンビオーネ中仙道2F TEL.086-242-2008</p>	<p><b>徳島支部・岡山南支部</b></p> <p>心を磨く、技を磨く、自分を磨く</p>  <p>支部長 <b>三宅義人</b></p> <p>〈徳島〉〒770-0021 徳島県徳島市佐古一丁目10-6 レインボータワービル5F TEL.088-654-6098 〈岡山南〉〒710-0038 岡山県倉敷市新田2901 TEL.090-8978-9021</p>	<p><b>香川支部・岡山西支部</b></p> <p>夢・極真専魂</p>  <p>支部長 <b>岩田厚</b></p> <p>〈香川〉〒763-0092 香川県丸亀市川西町南1304-1 TEL.0877-28-8880 〈岡山西〉〒710-0817 岡山県倉敷市大内1237-1 TEL.086-486-0222</p>			
<p><b>愛媛中央支部</b></p> <p>極真専心・極真貫徹</p>  <p>支部長 <b>谷口拓也</b></p> <p>〒790-0854 愛媛県松山市岩崎町2-12-23 竹村金物店3F TEL.089-977-5720</p>	<p><b>高知中央支部</b></p> <p>鍛とは万年己れを鍛え、練とは千年己れを練る</p>  <p>支部長 <b>白川彰一</b></p> <p>〒782-0032 高知県香美市土佐田町西本町4-1-5 TEL.090-1576-0141</p>	<p><b>福岡西支部</b></p> <p>世界の和合を志すサムライの育成</p>  <p>支部長 <b>阿部清文</b></p> <p>〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神5-7-5 ベスト天神ビル6F TEL.092-739-6610</p>			
<p><b>福岡東支部</b></p> <p>気力、体力、努力</p>  <p>支部長 <b>三村政史</b></p> <p>〒802-0023 福岡県北九州市小倉北区下富野5-1-31 TEL.093-521-7702</p>	<p><b>大分支部</b></p> <p>初志貫徹 武道空手</p>  <p>支部長 <b>三村忠司</b></p> <p>〒870-0933 大分県大分市花津留1-12-12 TEL.097-556-4511</p>	<p>本部直轄 <b>浅草・三郷・草加道場</b></p> <p>〈事務局/浅草〉 〒111-0033 東京都台東区 花川戸1-3-6 花川戸ビル1F TEL.03-5828-5992 〈三郷〉TEL.048-953-3277 〈草加〉TEL.048-928-0523</p>	<p><b>埼玉春日部道場</b></p> <p>〒344-0011 埼玉県春日部市 藤塚1626 TEL.048-763-8117</p>		
<p><b>新潟南道場</b></p> <p>〒949-7117 新潟県南魚沼市長森新田20-1 TEL.080-4051-4108</p>	<p><b>三重東道場</b></p> <p>〒510-0836 三重県四日市市松本3-12-17 豊ビル4F TEL.059-223-0400</p>	<p><b>大阪天満橋道場</b></p> <p>〒536-0016 大阪府大阪市城東区 蒲生4-2-3-303 TEL.06-6939-0244</p>	<p><b>島根松江道場</b></p> <p>〒690-0885 島根県松江市 浜佐田町787-2 TEL.0852-36-6828</p>	<p><b>長崎諫早道場</b></p> <p>〒854-0062 長崎県諫早市小船越町1048-2 諫早市中央体育館 TEL.0957-46-7900</p>	<p><b>熊本帯山道場</b></p> <p>〒862-0924 熊本県熊本市帯山8-5-94 TEL.096-285-3442</p>

国際空手道連盟 極真会館 全国支部 地区本部区分

<p><b>総本部</b></p> <p>館長/松井章奎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総本部道場</li> <li>・総本部代官山道場</li> <li>・総本部所沢道場</li> <li>・総本部川口道場</li> <li>・総本部札幌道場</li> <li>・総本部岩手道場</li> <li>・総本部沖繩道場</li> <li>・本部直轄四谷・飯田橋・東松山・秩父・熊谷道場</li> <li>・本部直轄浅草・三郷・草加道場</li> </ul>	<p><b>北日本本部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森支部</li> <li>・北海道札幌東支部</li> <li>・北海道胆振支部</li> <li>・北海道函館支部</li> <li>・秋田支部</li> <li>・山形支部</li> <li>・福島地区</li> <li>・宮城仙台道場</li> </ul> <p><b>中部本部</b></p> <p>本部長/浜井良顕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山支部</li> <li>・長野支部</li> <li>・石川支部</li> <li>・福井支部</li> <li>・静岡富士支部</li> <li>・静岡中央支部</li> <li>・静岡西遠支部</li> <li>・愛知東三河支部</li> <li>・愛知東南支部</li> <li>・愛知名古屋支部</li> <li>・岐阜支部</li> <li>・三重東道場</li> </ul>	<p><b>関東本部</b></p> <p>本部長/山田雅稔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷田道場</li> <li>・東京城西支部</li> <li>・栃木北支部</li> <li>・栃木南支部</li> <li>・群馬東支部</li> <li>・群馬西支部</li> <li>・茨城支部</li> <li>・茨城中央支部</li> <li>・埼玉北支部</li> <li>・埼玉北西支部</li> <li>・埼玉中央支部</li> <li>・埼玉南支部</li> <li>・埼玉北越谷支部</li> <li>・千葉北支部</li> <li>・千葉下総支部</li> <li>・千葉中央支部</li> <li>・千葉南支部</li> <li>・千葉北西支部</li> <li>・千葉東葛支部</li> <li>・東京城東北千住支部</li> <li>・東京城東小岩支部</li> <li>・東京城東葛西支部</li> <li>・東京城東湾岸支部</li> <li>・東京城西国分寺支部</li> <li>・東京城西世田谷東支部</li> <li>・東京城西野方支部</li> <li>・東京城西下北沢・町田支部</li> <li>・東京城北支部</li> <li>・東京城南目黒中央支部</li> <li>・東京城南池上支部</li> </ul>	<p><b>関西本部</b></p> <p>本部長/川畑幸一</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都支部</li> <li>・奈良支部</li> <li>・和歌山支部</li> <li>・北大阪支部</li> <li>・大阪西支部</li> <li>・大阪東南支部</li> <li>・大阪東支部</li> <li>・大阪なみはや支部</li> <li>・大阪南支部</li> <li>・大阪布施支部</li> <li>・兵庫西支部</li> <li>・大阪天満橋道場</li> <li>・滋賀草津道場</li> </ul> <p><b>中国本部</b></p> <p>本部長/河岡博實</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山口支部</li> <li>・広島支部</li> <li>・岡山西支部</li> <li>・岡山東支部</li> <li>・岡山南支部</li> <li>・島根松江道場</li> </ul>	<p><b>四国本部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徳島支部</li> <li>・香川支部</li> <li>・愛媛中央支部</li> <li>・高知中央支部</li> </ul> <p><b>九州本部</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡西支部</li> <li>・福岡東支部</li> <li>・大分支部</li> <li>・佐賀支部</li> <li>・熊本支部</li> <li>・宮崎支部</li> <li>・鹿児島支部</li> <li>・長崎諫早道場</li> <li>・熊本帯山道場</li> </ul> <p>佐賀支部・熊本支部・宮崎支部・鹿児島支部 連絡先/総本部事務局 東京都渋谷区猿楽町3-7 TEL.03-6452-5777</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

極真会館 創立60周年



+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

# I.K.O.セミコンタクトルール 2024全国交流大会

## 2024全日本型競技 空手道選手権大会

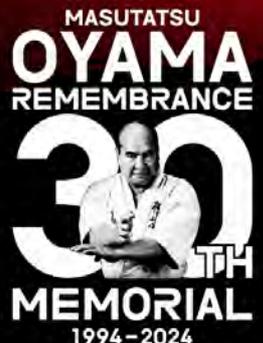
主催 / 国際空手道連盟 極真会館 館長 / 松井章奎

8月24日 京都府立体育館 島津アリーナ京都  
京都市北区大將軍鷹司町

後援 / 日本赤十字社 メディアエイト ワールド空手

CHAMPIONSHIP THE 56TH ALL JAPAN OPEN KARATE ORGANIZATION - KYOKUSHIN - INTERNATIONAL KARATE

極真会館 創立60周年



+ 日本赤十字社  
災害義援金チャリティー

第56回 オープントーナメント

全日本空手道選手権大会

主催 / 国際空手道連盟 極真会館 館長 / 松井章奎

2024年11月30日 土 12月1日 日 東京体育館

PRESENTED BY INTERNATIONAL KARATE ORGANIZATION KYOKUSHINKAIKAN  
NOVEMBER 30TH & DECEMBER 1ST, 2024 @ TOKYO METROPOLITAN GYMNASIUM

英

品